



Automower 105 設置・動作確認ガイド

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

設置に必要な工具を準備してください

プラスチックハンマー

ワイヤー設置用



ニッパー

ワイヤーのカットに使用



プライヤー

ワイヤーの接続に使用



設置に必要な準備品

屋外用 コンセントボックス

家庭用100V電源を、屋外の直射日光や雨水の当たらない場所で使用します。コンセントボックスを設置することをお勧めします。屋外に100V電源がない場合、専門の電気施工業者にご相談ください。

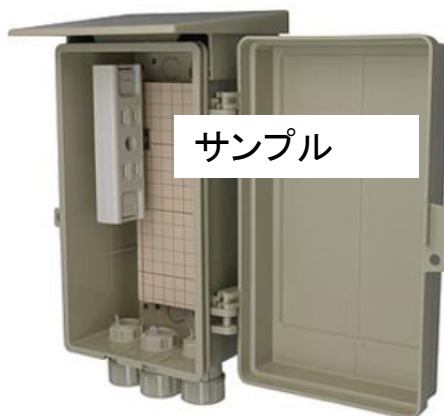
※下の写真は、家庭用100V電源と、Automower用電源を収納するコンセントボックスの一例です。

※ハスクバーナ・ゼノアでは家庭用100V電源の屋外施工や、コンセントボックスの販売は行っておりません。
ご了承ください。

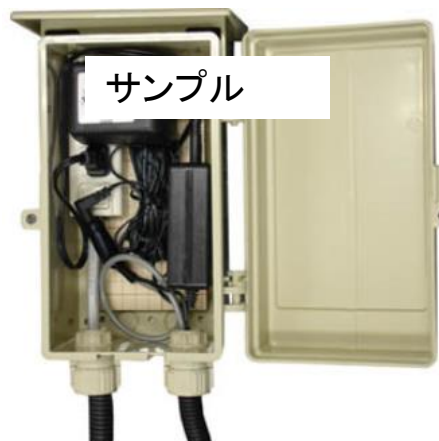
サンプル



サンプル



サンプル



サンプル



防護グローブ

※皮手袋を推奨します



Automower 105 パッケージ内容物

箱の中に入っているものは以下の通りです。次のページより箱の開け方を説明します。



箱の開け方

赤色で記したところのテープをはがして、箱を開けてください。(1)

カッターでテープを切る時は(2)の青色の長方形を切らないように注意してください。

箱を開けると右の写真のように青色の長方形が2種類あります。(2)

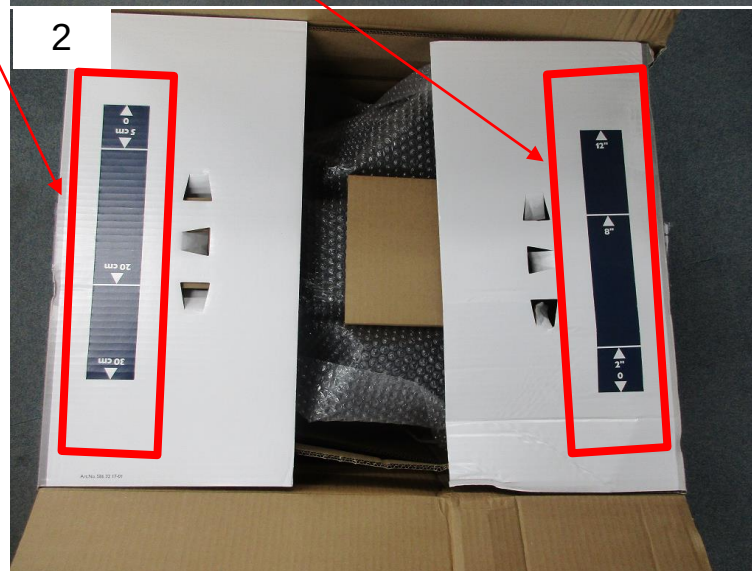
(ミシン目で切り取れるようになっていました。)

これは「境界ワイヤー設置時に役立つゲージ」です。後ほど切り取りますので、この部分を破いたり水に濡らしたりしないようにしてください。

1

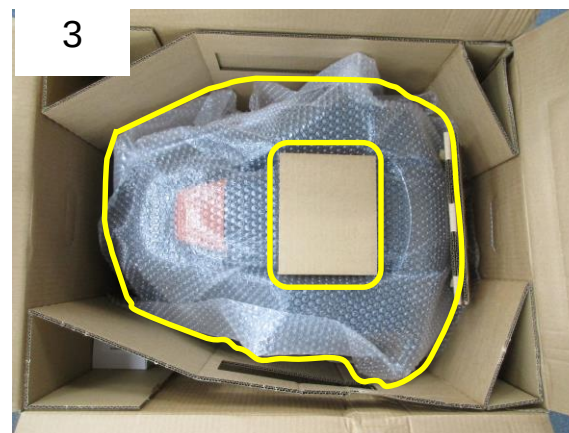


2



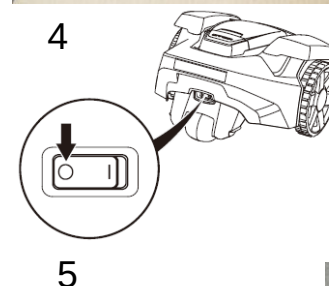
Automower 105の取り出し方

黄色枠で囲まれた四角い段ボールと透明な緩衝材を取り除いてください。(3)



取り出す前に電源がオフであることを確認します。

(4) のようにスイッチは0 側に押し込まれていることを確認してください。スイッチが1 側に押し込まれていると、不意に動き出す可能性があります。



(5)のようにAutomower 105を箱から取り出します。

※持ち手の位置は、写真5-1を参考にしてください。

片手で取り出すことが難しいようでしたら、次ページ(7)を参考にして取り出してください。



Automower 105の運び方

運ぶときは、(6) のように持ってください。

製品下側にはブレードディスク(刈刃)が取り付けられています。取扱いに注意してください。

6



片手で持ち運ぶことが難しい場合、(7)を参考に持ってください。

ブレードディスク(刈刃)に気をつけて運んでください。

7



付属品の取り出し方

箱から取り出したAutomower 105を地面におきます。(8)

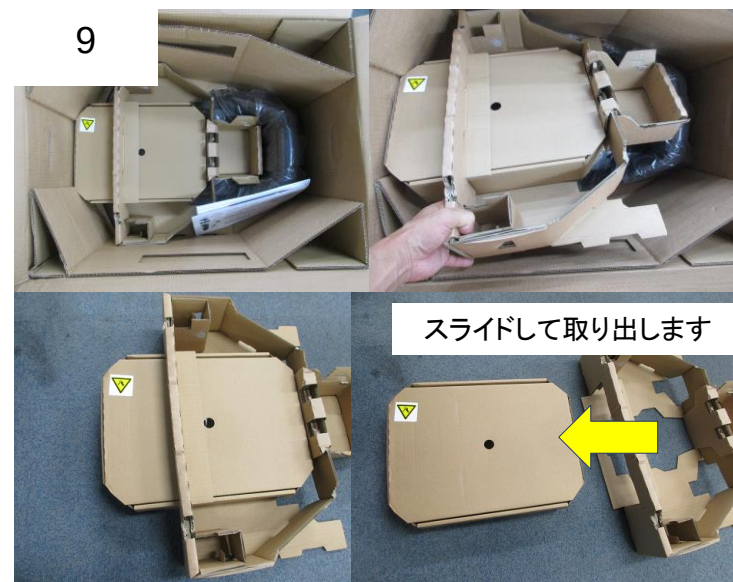
8



(9) のように、Automower 105の下にある段ボール箱を取り出します。これは、付属品ですので紛失しないように注意してください。

※付属品の一覧は、「Automower 105 パッケージ内容物(詳細)」を確認してください。

9



チャージステーションの取り出し方

箱からチャージステーションを取り出します。(10)

10



Automower 105 パッケージ内容物(詳細)

電源



警報デカル



低電圧ケーブル(3m)



ケーブルマーカー



チャージステーション固定用
ネジ3本 と六角レンチ1本

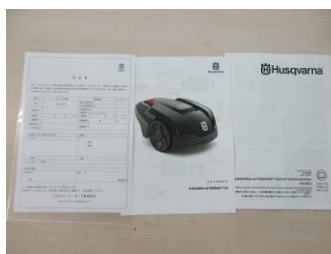


測定ゲージ 箱のミシン目より
切り取り取ります

センチ表示とイン
チ表示各1枚あり
ます



保証書、取扱説明書、クイッ
クガイド



予備のブレード(刈刃)9
枚とねじ9本

取扱いは保護グローブ
を使用してください



キットS パッケージ内容物(詳細)

キットS セット



ワイヤー150m
1リール
境界ワイヤー
ガイドワイヤー
に使用します



ペグ1袋100本×3
袋 合計300本



コネクター(紫) 5個
カプラー(青白) 3個



設置の前に

設置に使用される用語の意味

Automower 105
(本体)

芝刈りをする本体です。チャージステーションで充電され、定められた範囲を自動的に芝刈りします。

チャージステーション

Automower 105 本体に充電をするためのドッキングステーションです。

境界ワイヤー

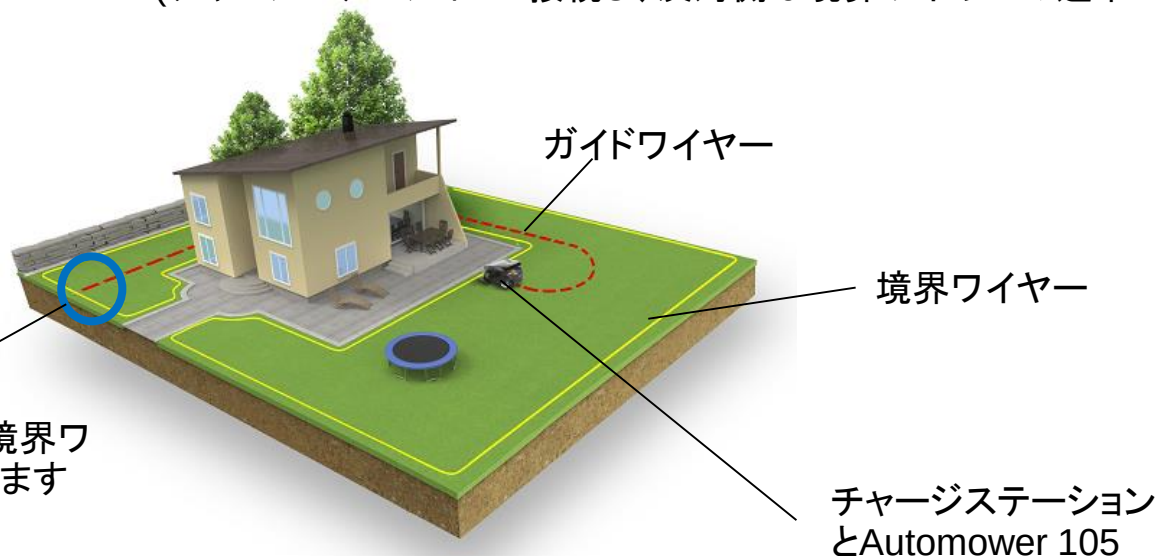
Automower 105が動作する最も外側になる範囲に設置するワイヤーです。

(チャージステーションに接続し、1本の長いワイヤーで囲み(一筆書きし)、チャージステーションに戻るように設置します。)

ガイドワイヤー

Automower 105が動作中、チャージステーションに戻るために必要なワイヤーです。
(チャージステーションに接続し、反対側は境界ワイヤーの途中に接続させます。)

キットに入っている
リールのワイヤーを
使用します



ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続させます

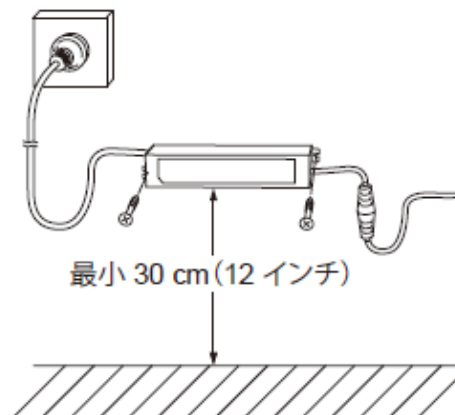
チャージステーション
とAutomower 105

設置の前に 設置場所の確認(電源、チャージステーション)

電源

「設置に必要な準備品」を参考にして設置する場所を確認してください。

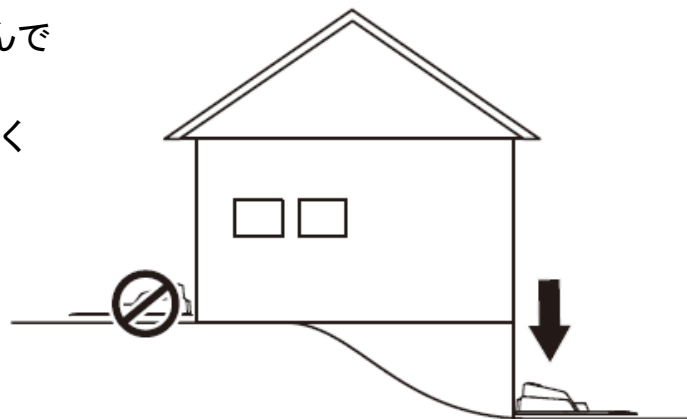
浸水を防ぐために、地面から30cm以上の高さを確保してください



チャージステーション

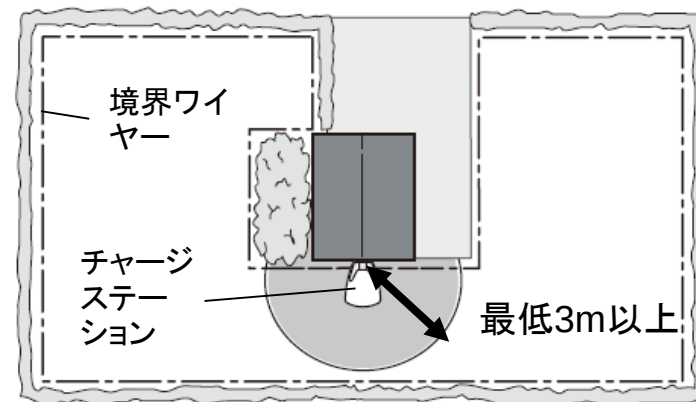
設置場所は、芝刈りエリアの中でも低いところを選んでください。

Automower 105がチャージステーションへ戻りやすくなります。



設置の前に 設置場所の確認(チャージステーション)

チャージステーションには最低でも半径3mのスペースを確保してください。

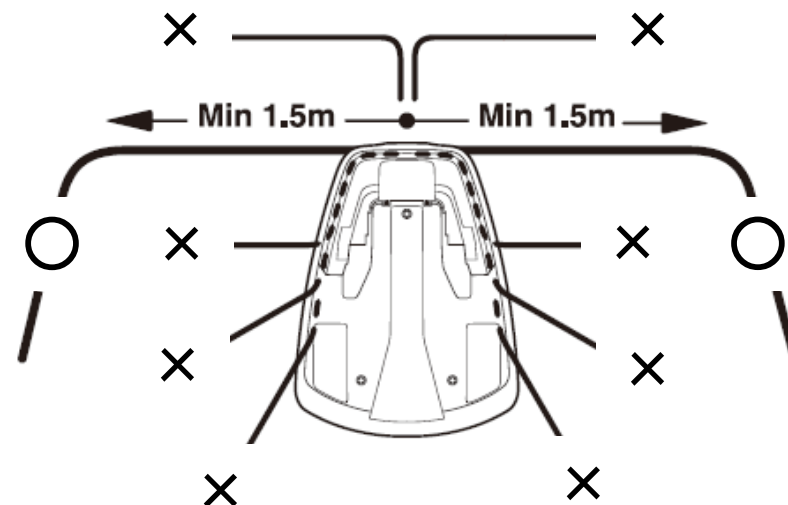


境界ワイヤーは最低でも左右1.5mチャージステーションから真横に設置してください。

真横以外の位置に設置しないでください。

Automower 105がチャージステーションに戻れなくなります。

(右図を参考にしてください)



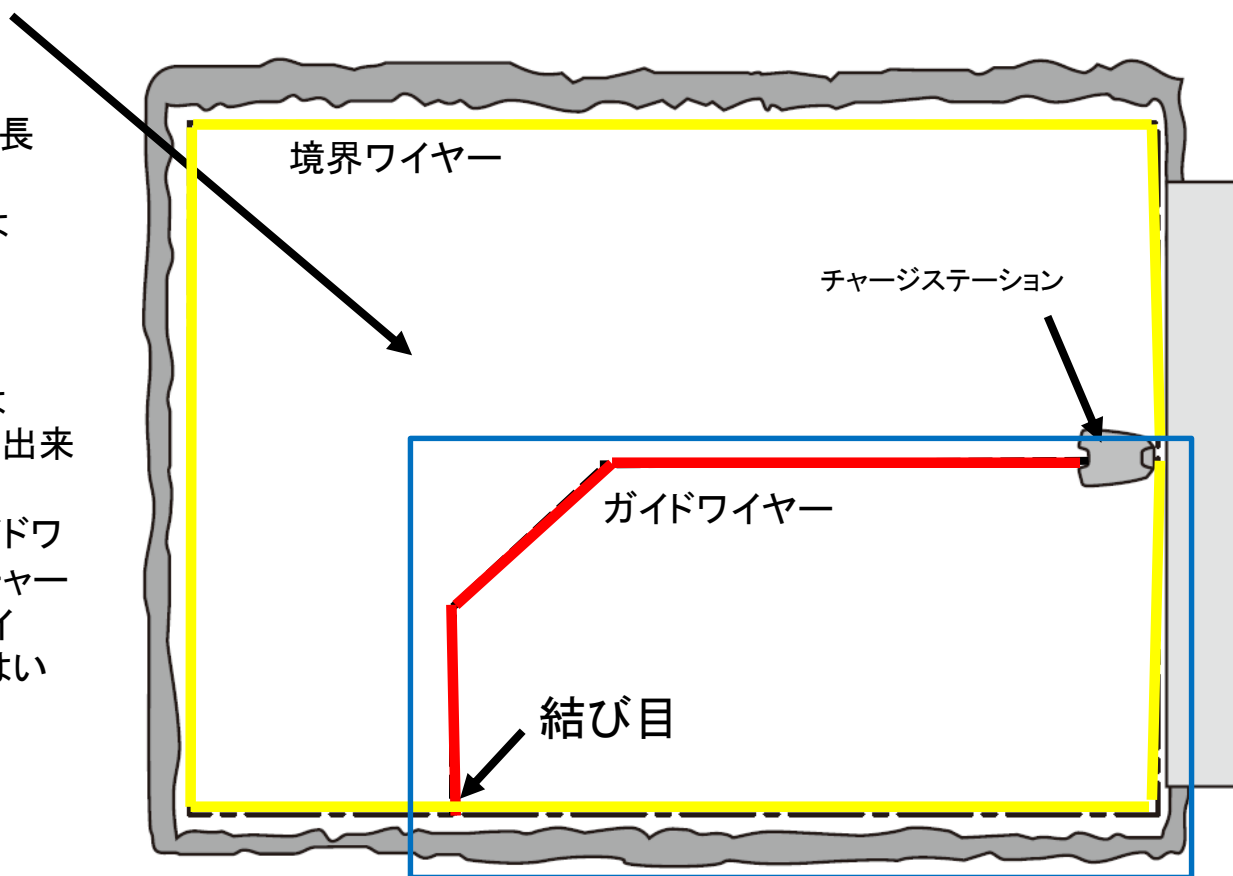
設置の前に 設置場所のサイズ確認

芝刈り面積600m²以内

(目安: 20m × 30m)

右の黄線(境界ワイヤー)は最長400m使用可能です。
(400mを超えて使用することは出来ません。)

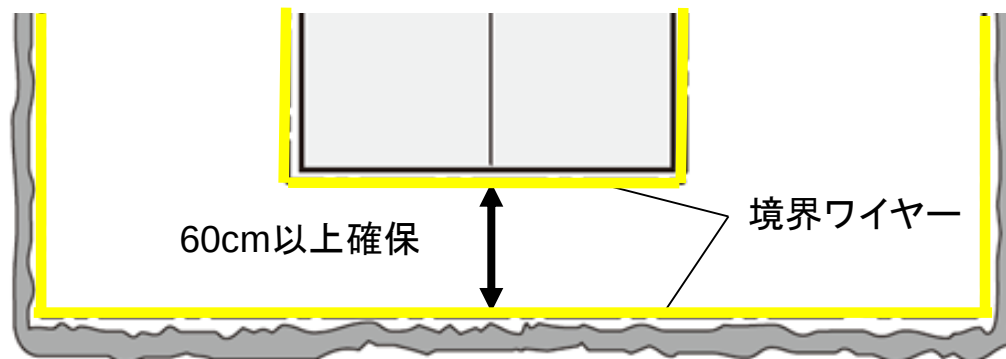
右の青四角で囲まれた部分は200mを超えて使用することは出来ません。
(チャージステーションからガイドワイヤーを通り、反時計回りでチャージステーションに戻ってくるワイヤーの長さが200mを超えてはいけません。)



設置の前に 境界ワイヤーを設置できるサイズの確認

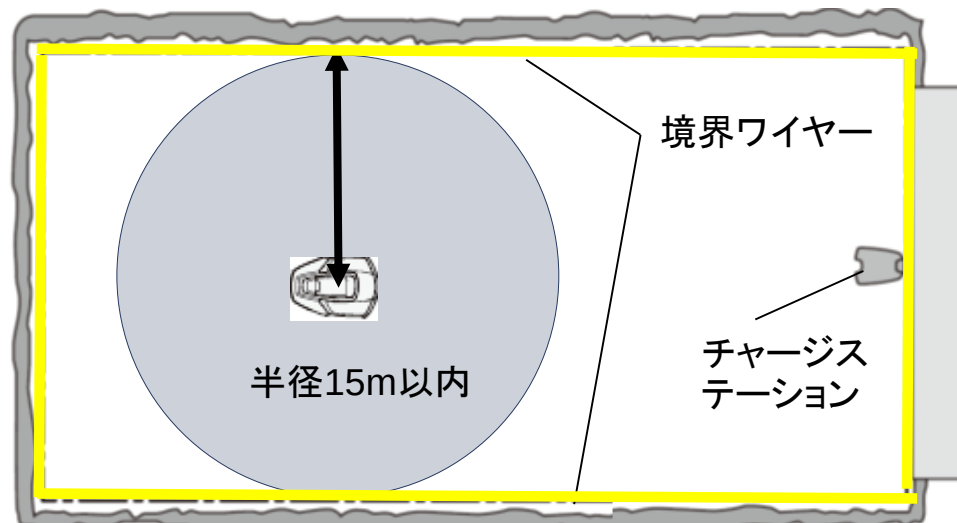
境界ワイヤーと境界ワイヤーの間の通路は最も狭いところでも**60cm**は確保してください。

これ以上狭いと、Automower 105 が通れません



境界ワイヤーからAutomower 105までの距離は、最長でも15m以内となるように設置してください。

これ以上広いと、Automower 105 が動作できません



設置の前に 境界ワイヤー設置可能な最大傾斜について

最も外側になるエリアで15%、
8.5度以上の傾斜地であれば
境界ワイヤーは設置でき
ません

チャージステーション

Automower 105

平坦地

傾斜地

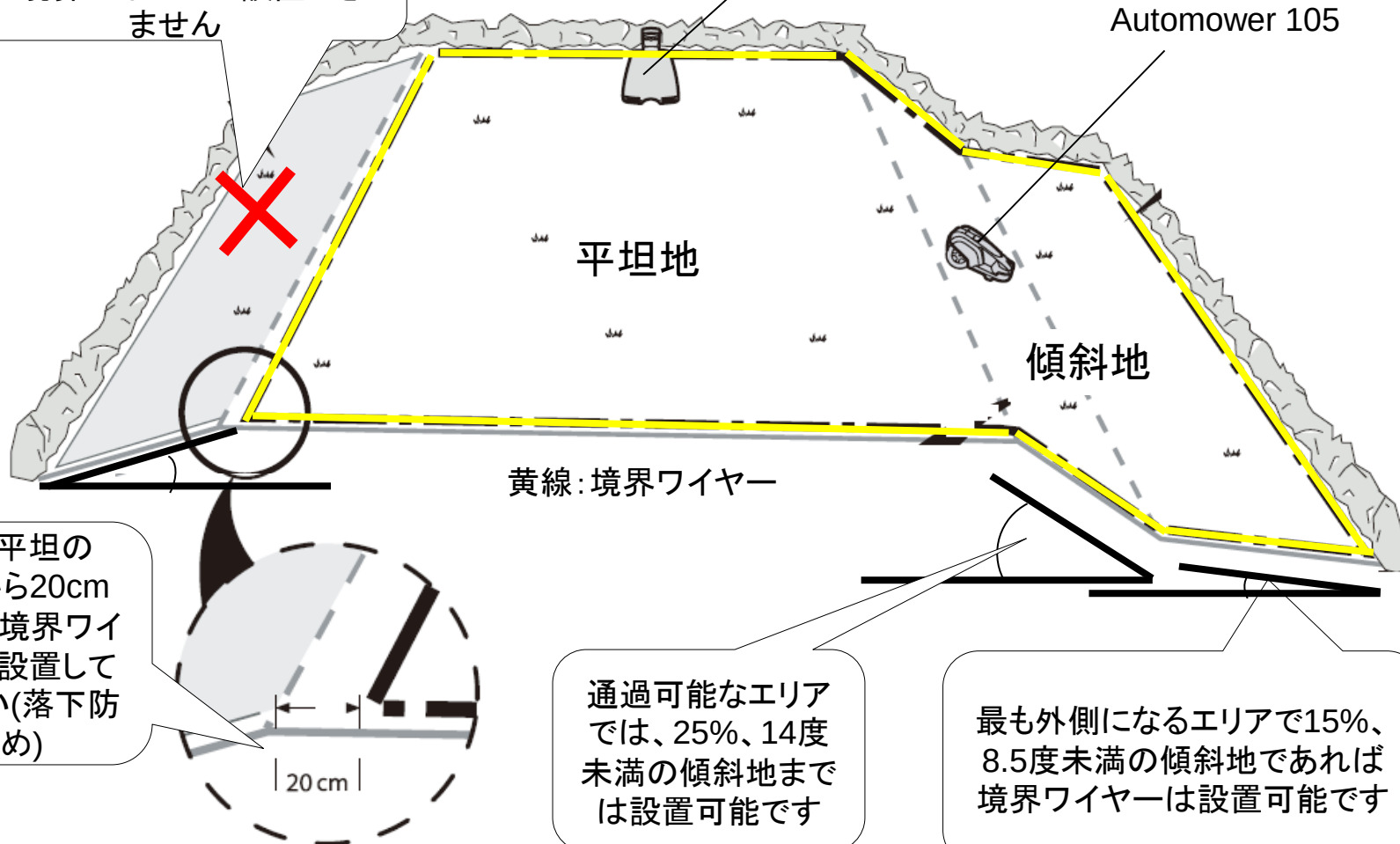
黄線: 境界ワイヤー

傾斜と平坦の
境目から20cm
空けて境界ワイ
ヤーを設置して
ください(落下防
止のため)

20 cm

通過可能なエリア
では、25%、14度
未満の傾斜地まで
は設置可能です

最も外側になるエリアで15%、
8.5度未満の傾斜地であれば
境界ワイヤーは設置可能です

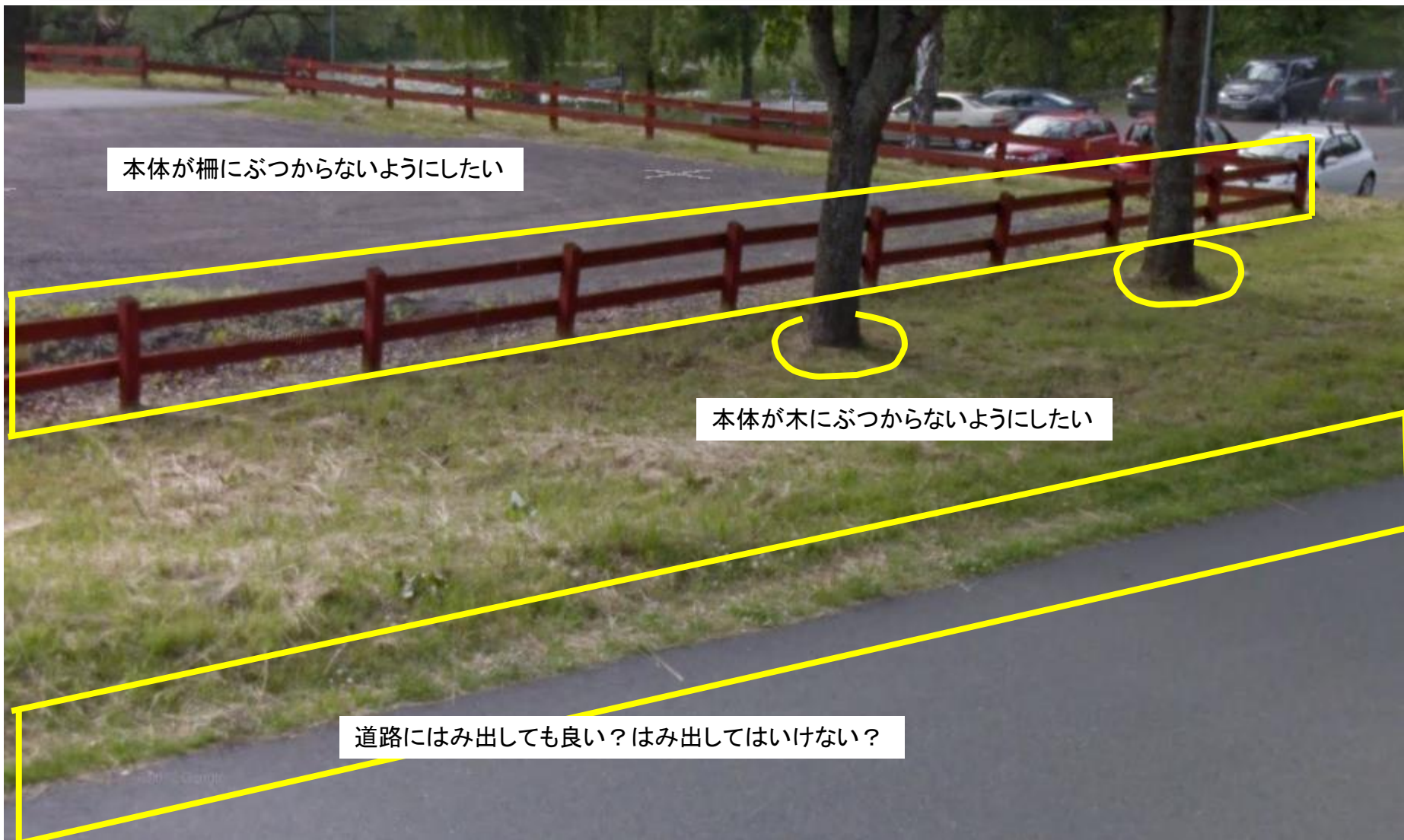


設置の前に 設置する場所の障害物の確認ポイント(例)

本体が柵にぶつからないようにしたい

本体が木にぶつからないようにしたい

道路にはみ出しても良い？はみ出してはいけない？



設置の前に 設置する場所の障害物の確認ポイント(例)

本体が柵にぶつからないようにしたい

柵からの距離を30cm確保します

柵から20cmは **刈残しが発生します**

本体が木にぶつからないようにしたい

幹からの距離を30cm確保します

幹から20cmは **刈残しが発生します**

道路にはみ出しても良い場合: **道路ギリギリ～5cm** (刈残しはありません)

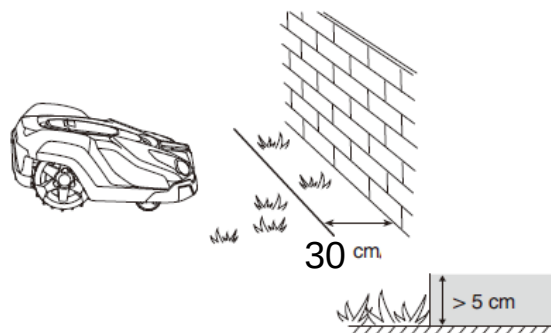
はみ出してはいけない場合: **道路からの距離を30cm確保します** (20cmは **刈残しが発生します**)

設置の前に 設置する場所の障害物の確認ポイント(例)

境界ワイヤーの設置場所

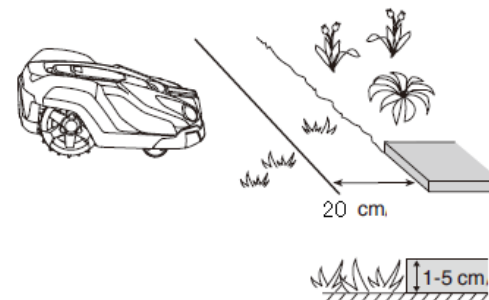
5cm以上の高さの障害物: 30cm離します

障害物から20cmは刈残しが発生します。



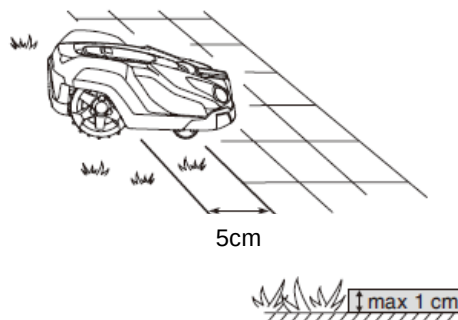
5cm未満の障害物: 20cm離します

障害物から12cmは刈残しが発生します。



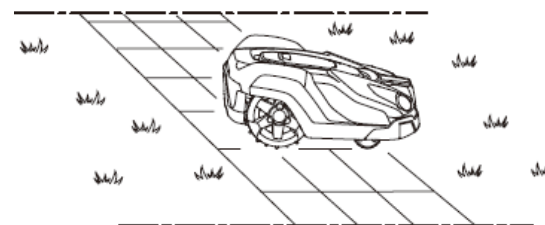
1cm未満の障害物: 5cm離します

刈残しはありません



通過可能な通路: 設置不要です。

通路上に突起物が無いよう注意してください。



設置の前に 設置する場所の障害物の確認ポイント(例)

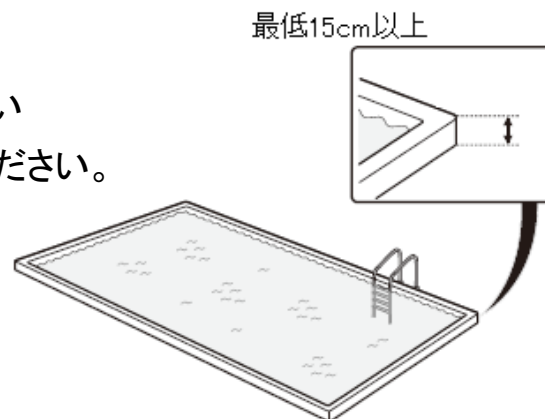
境界ワイヤーの設置場所

絶対に侵入させたくないエリア

15cm以上の高さの障害物で仕切りを設置してください

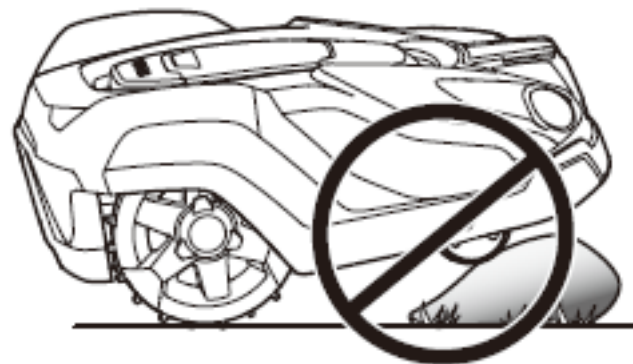
仕切りと接触させないようにするには、30cm離してください。

20cmは刈残しが発生します



大きな石などは取り除いてください。

Automower 105が障害物に乗り上げて横転したり、ブレードディスク(刈刃)が接触して欠けたりします。



設置の前に 設置する場所の障害物の確認ポイント(例)

取り除けない障害物

木など、芝刈りエリアに点在する障害物は、境界ワイヤーの設置で衝突を回避することが出来ます。

下の図のように、境界ワイヤーで障害物を囲み、元の境界ルートへ戻します。(アイランド化作業と呼びます)

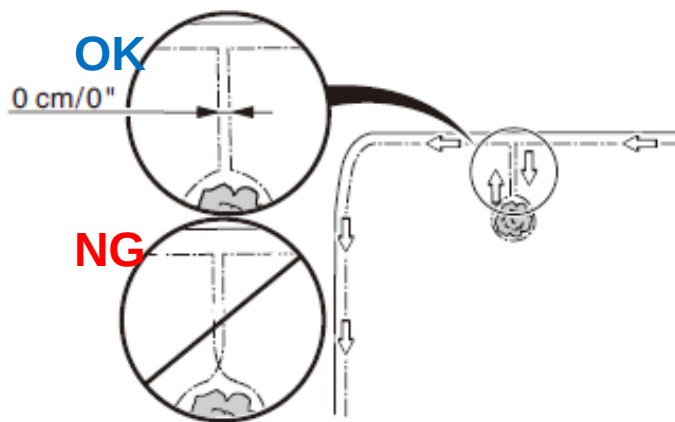
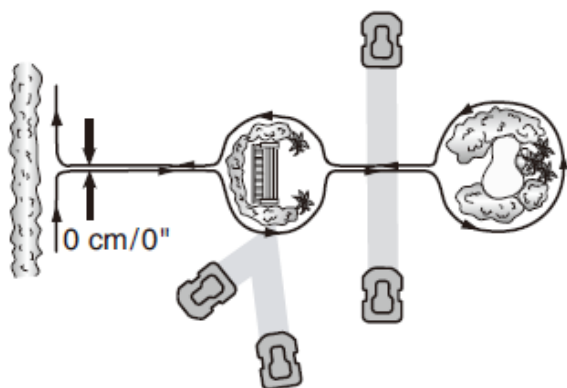
注意

1. 行きと戻りのワイヤーは必ず密着させて(0cm)設置してください。

※密着させたワイヤーの上は Automower が通過します。ワイヤーが浮いてブレードディスク(刈刃)でカットされないように設置してください。

2. 行きと戻りのワイヤーが交差しないように設置してください。(右下の図を参考にしてください)

3. アイランド化作業も含めて境界ワイヤーの総延長は400m以内となるよう設置してください。

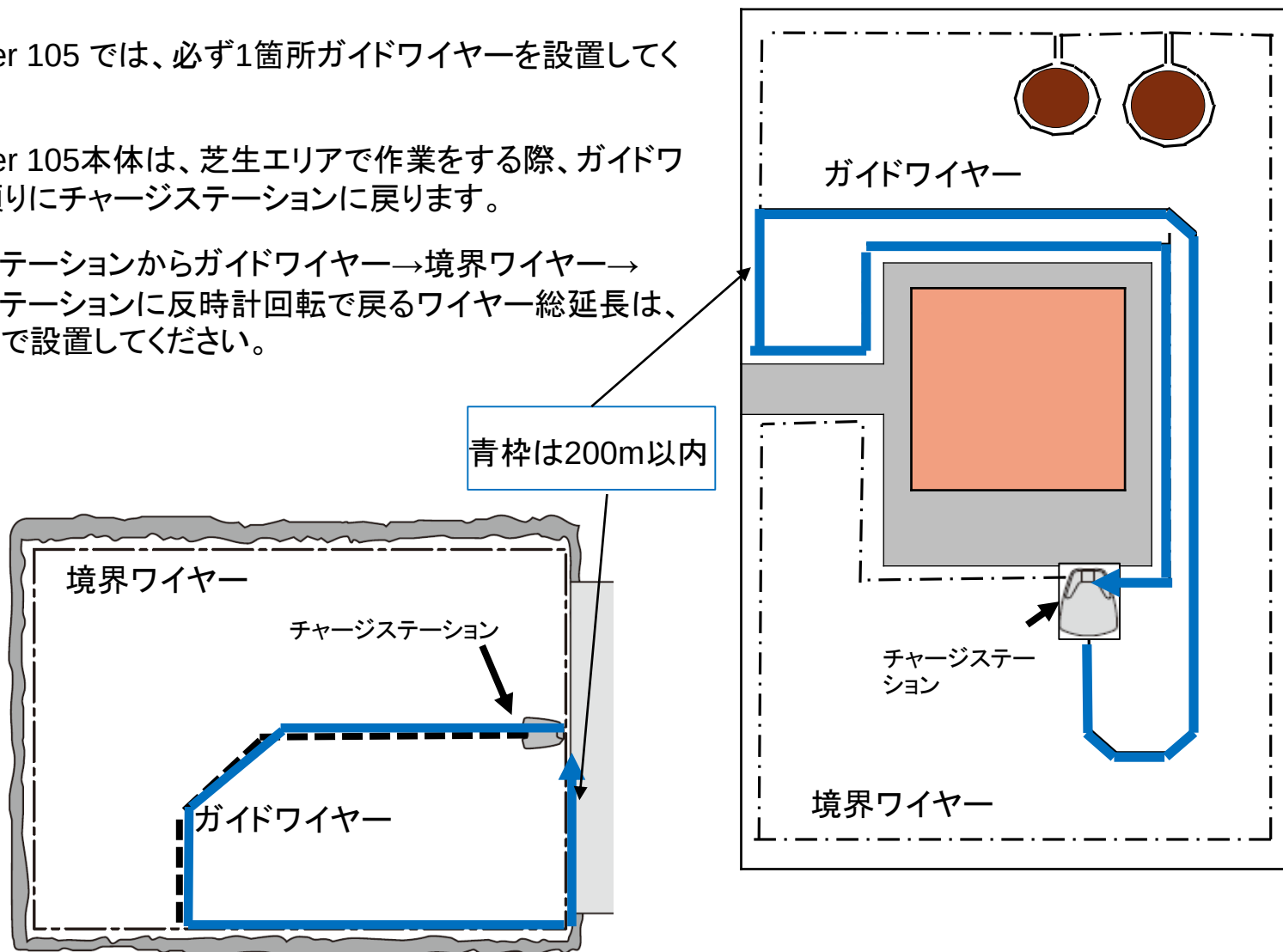


設置の前に ガイドワイヤーの設置について

Automower 105 では、必ず1箇所ガイドワイヤーを設置してください。

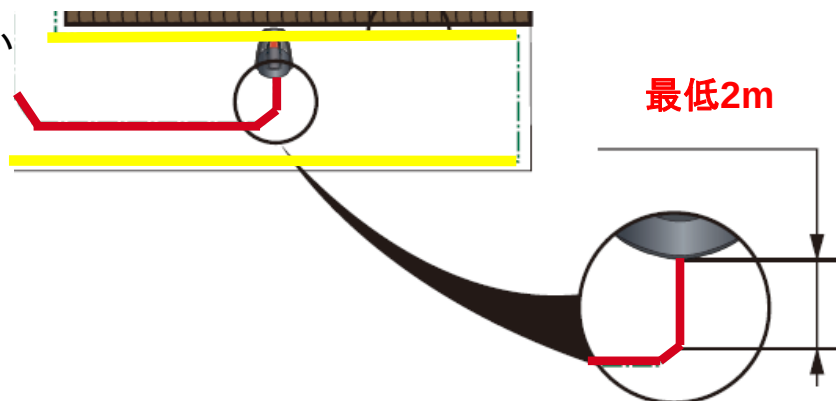
Automower 105本体は、芝生エリアで作業をする際、ガイドワイヤーを頼りにチャージステーションに戻ります。

チャージステーションからガイドワイヤー→境界ワイヤー→チャージステーションに反時計回りで戻るワイヤー総延長は、200m以内で設置してください。



設置の前に ガイドワイヤー設置の注意点

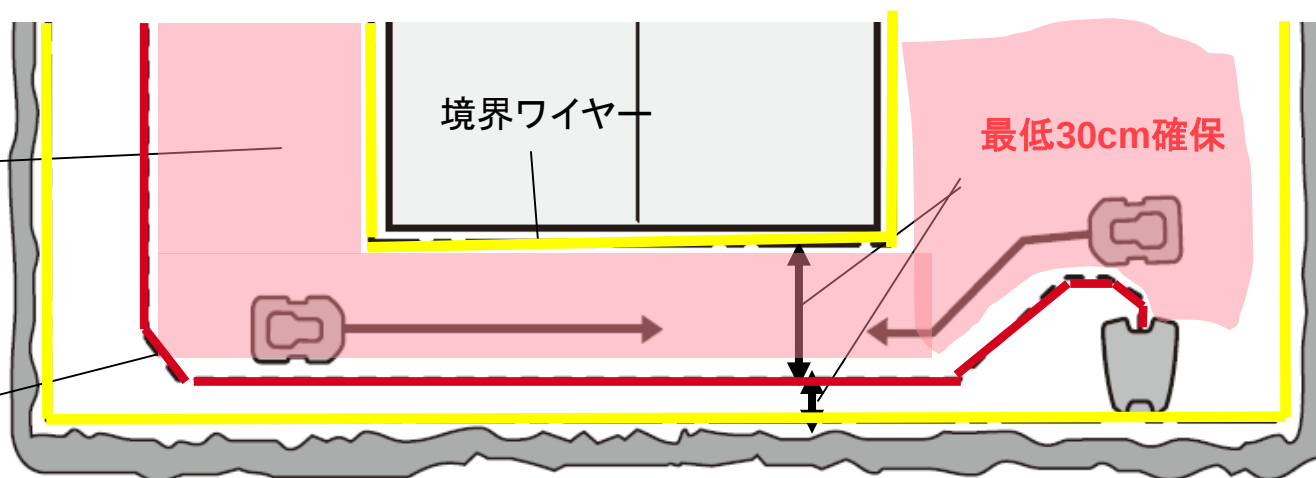
ガイドワイヤー設置の際、チャージステーションからまっすぐに2mは確保してください



境界ワイヤーとは、左右共に最低30cmは空けてください。ガイドワイヤーからチャージステーションに向かって左側のエリアはAutomowerがチャージステーションに戻るためのルートになります。特に左側(ピンクのエリア)は広めに空きスペースを確保してください。Automowerがチャージステーションに戻る際、ガイドワイヤーの右側は通りません。

Automowerはピンクのエリアを通してチャージステーションに戻ります

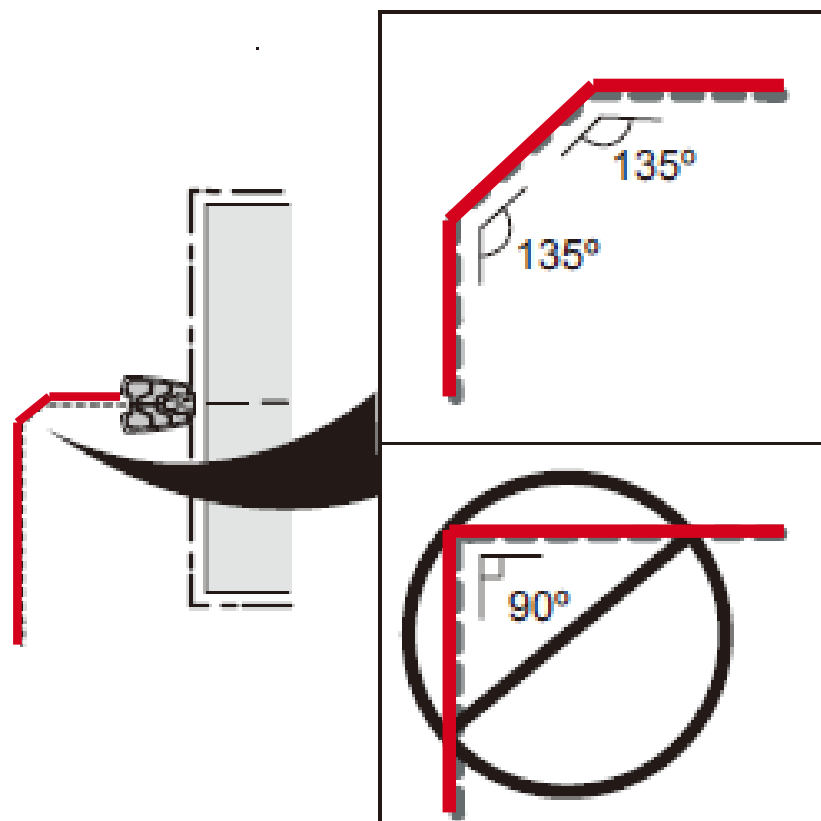
ガイドワイヤー



設置の前に ガイドワイヤー設置の注意点

ガイドワイヤー設置の際、曲がり角が90度にならないようにしてください。

右の図のように曲がり角が135度程度となるように、設置してください。



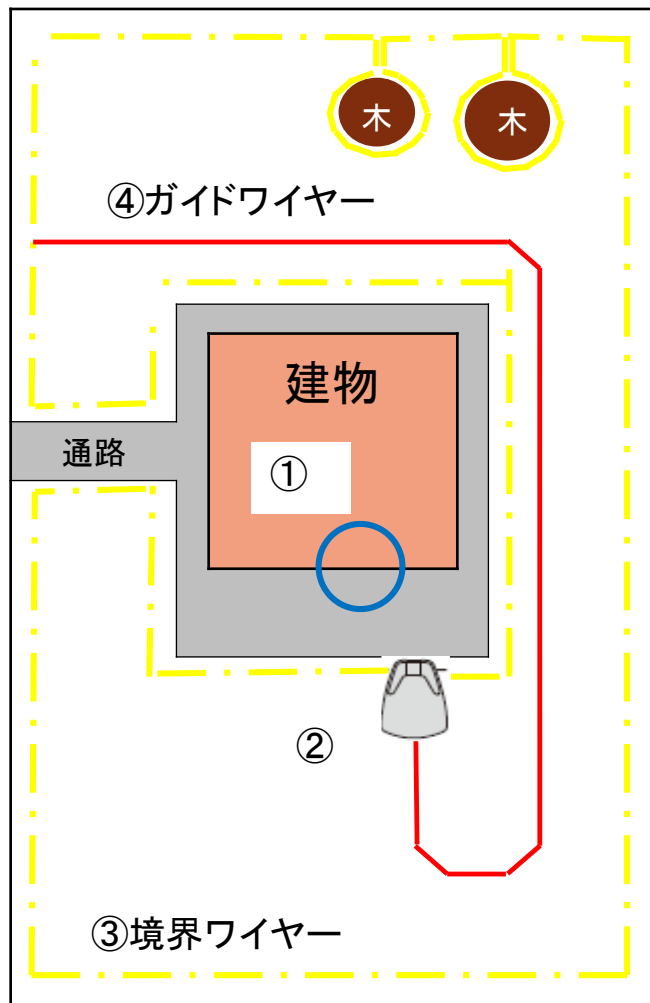
設置の前に 設置図面の作成

設置場所を上空から見た二次元レイアウトで作成すると完成イメージがつかみやすいです。

(次ページ参照)



設置の前に 設置図面の作成



①電源とコンセントボックスの設置場所を決めます。

直射日光や雨水を受けない家庭用100V電源を確保します。
Automowerの電源もコンセントボックスに入れて保護します。
浸水を防ぐため地面より30cm以上の高さを確保します。

②チャージステーションの位置を決めます。

チャージステーションから半径3m ガイドワイヤー用に前方2m障害物がないことを確認します。

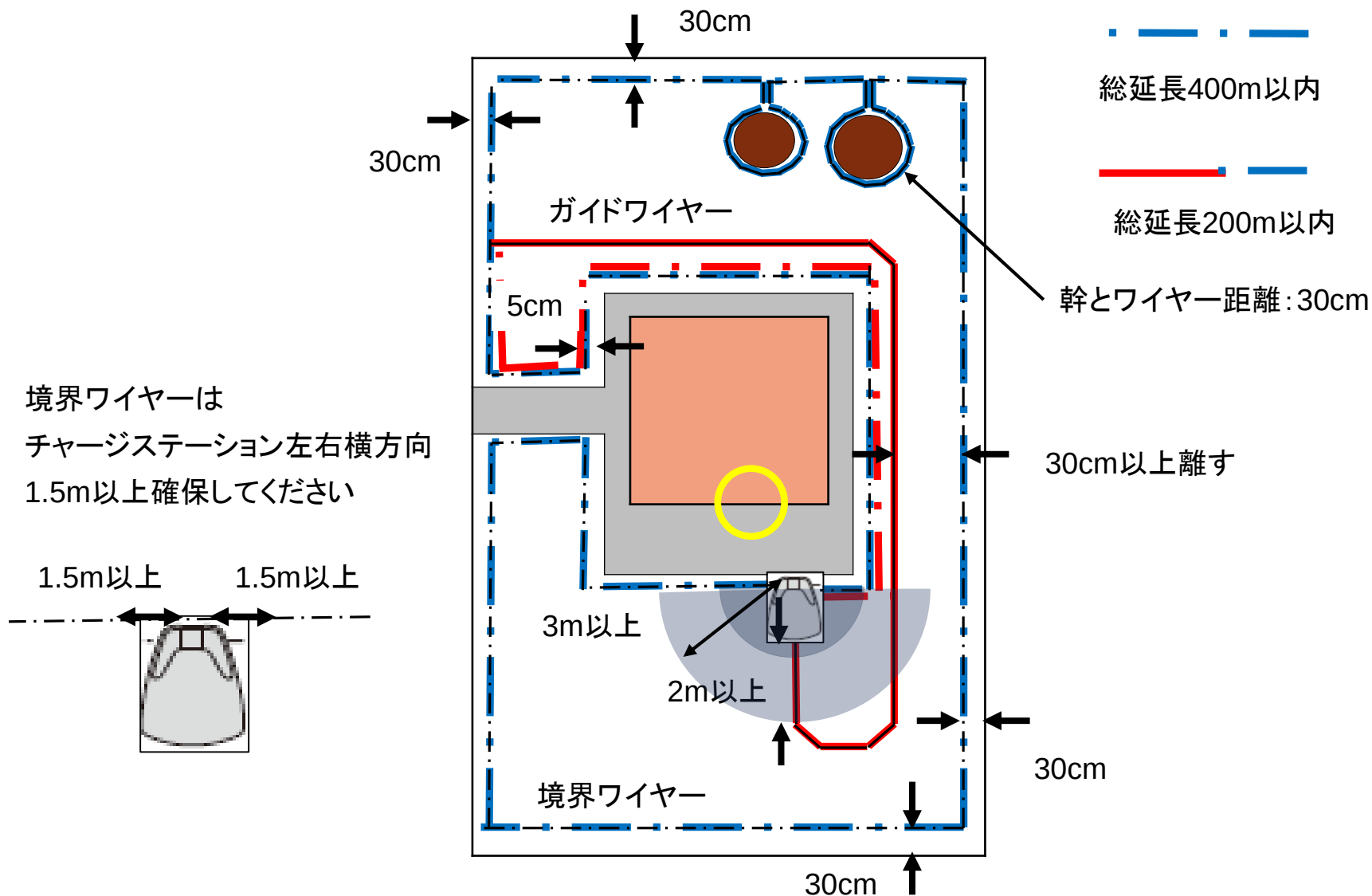
③芝刈りしたい範囲に、境界ワイヤーを設置します。

建物周りは高さ1cm未満の障害物なので、5cm離します。
外周にはぶつからないようにしたいので、30cm離します。
木にはぶつけないので、アイランド化を実施し、幹の周りを30cm確保します。
総延長が400m以内で設置します。

④ガイドワイヤーを設置します。

曲がり角は、135度程度の緩いカーブとなるように設置します。
チャージステーションに向かって左側は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの距離を大きくとります(最低30cm以上)
チャージステーション→ガイドワイヤー→境界ワイヤー→チャージステーションとなる反時計回りの総延長は200m以内となるよう設置します

設置の前に 設置図面の作成



設置の前に 設置図面の作成

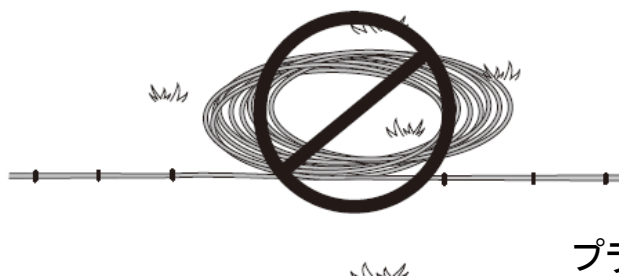
完成予想図



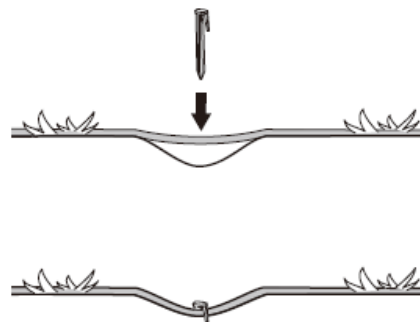
設置 電源と低電圧ケーブル

家庭用100Vの電源と、Automower 105 の電源は直射日光や雨水が直接届かず、地面から30cm以上の高さに設置してください。

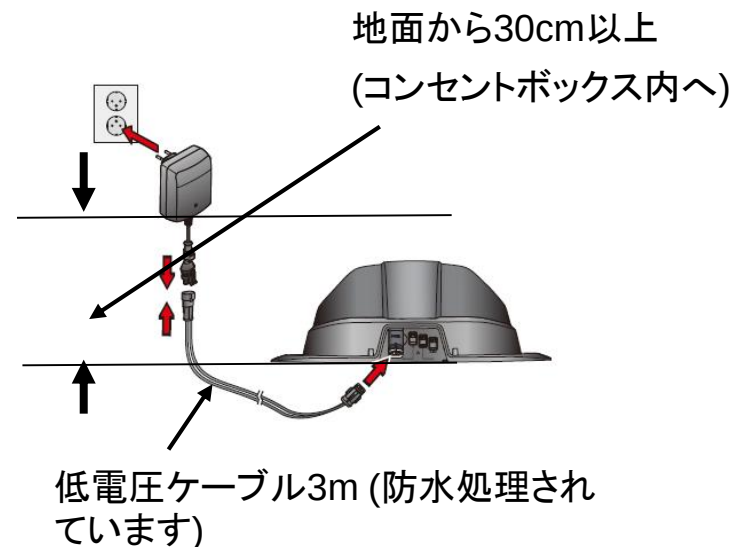
低電圧ケーブルを下図のように巻いた状態で設置したり、チャージステーションの下に設置したりしないでください。



プラスチックハンマーで
ペグを打ち込みます



低電圧ケーブルは右図のように凹みに合わせて設置してください。



チャージステーションの
上に乗らないでください。



設置

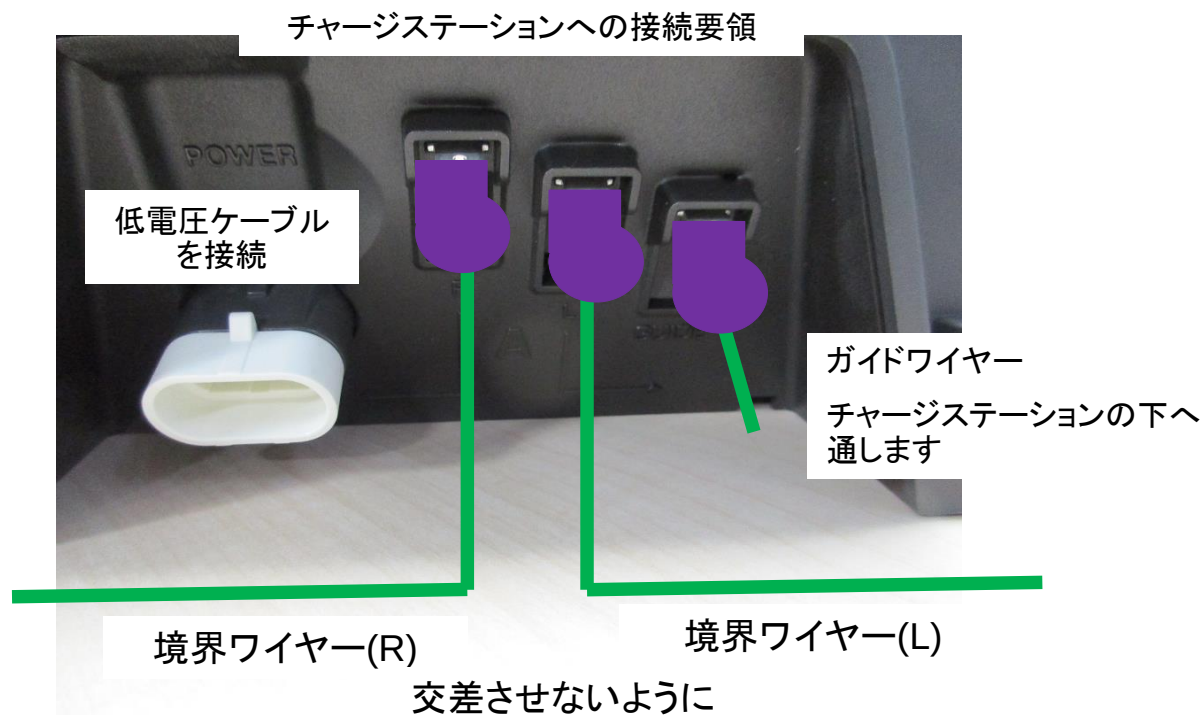
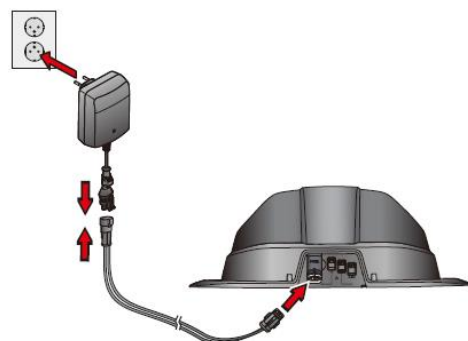
チャージステーション

チャージステーションへのワイヤー、ケーブルは下の通り接続してください

設置作業中は、電源と低電圧ケーブルをチャージステーションに接続し、Automower 105をチャージステーションにドッキングさせ、充電してください。(本体の電源スイッチを1にしてください)

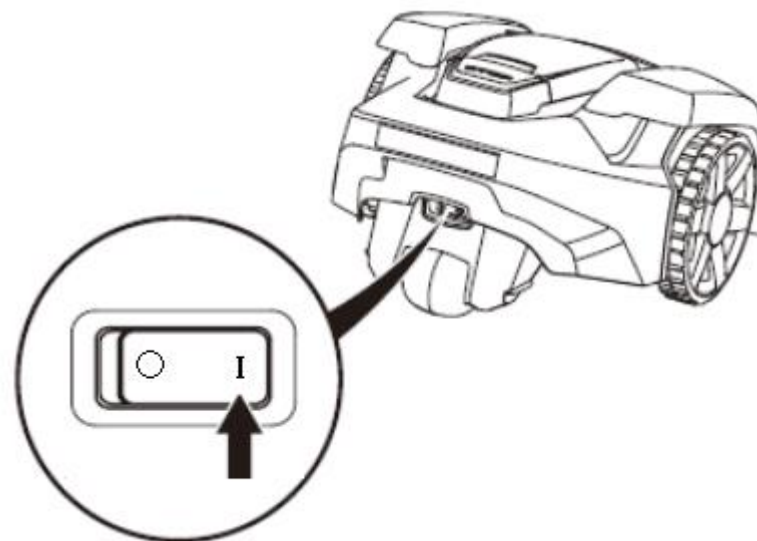
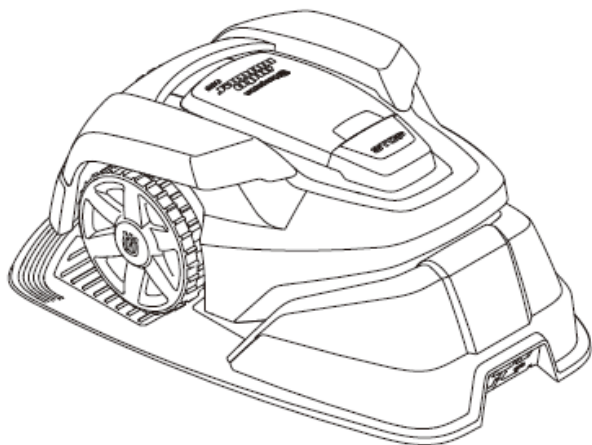
充電完了し、ワイヤー設置後、ガイドワイヤーと境界ワイヤーを、チャージステーションに接続します。

なお、境界ワイヤーをチャージステーションに接続する際は、交差しないように接続してください。



設置 本体の充電(設置作業中)

家庭用電源100Vに電源を接続、電源に低電圧ケーブルを接続、低電圧ケーブルをチャージステーションに接続したら、Automower 105の電源スイッチ1を押し、チャージステーションにドッキングさせてください。充電が開始されます。



設置 境界ワイヤー設置要領

境界ワイヤー(L)の方から境界ワイヤーを設置していきます。

ペグを使って境界ワイヤーを地面に設置します。

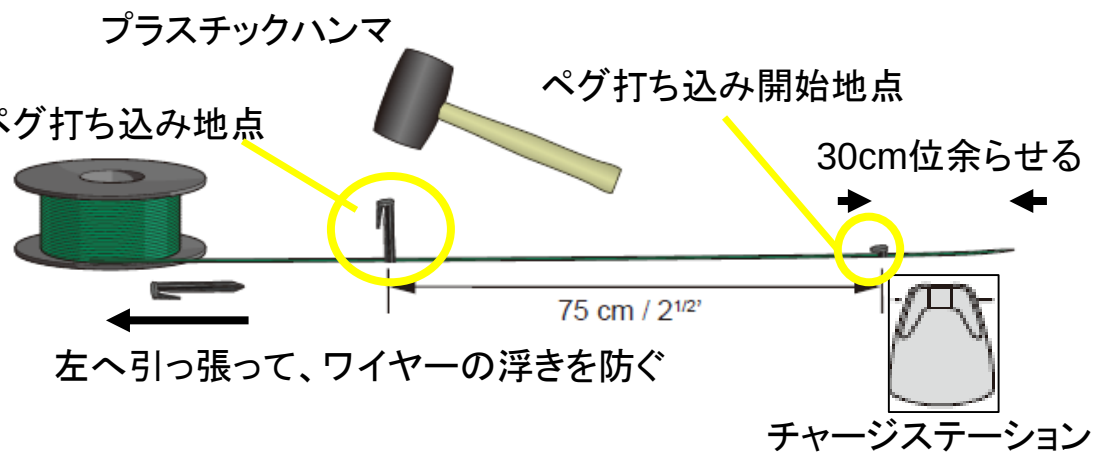
ワイヤーの端部から30cm位のところが最初のペグで固定される位置になります。

この余らせた部分は、チャージステーションへの接続用に使用します。(次ページ参照)

ペグとペグは約75cm間隔で地面に打ち込みます。

ワイヤーが芝から浮かないようにペグを打ち込んでください。

75cm間隔をあげ、2本目のペグを打ち込む際、境界ワイヤーがたるまないよう、張りながら打ち込んでください。



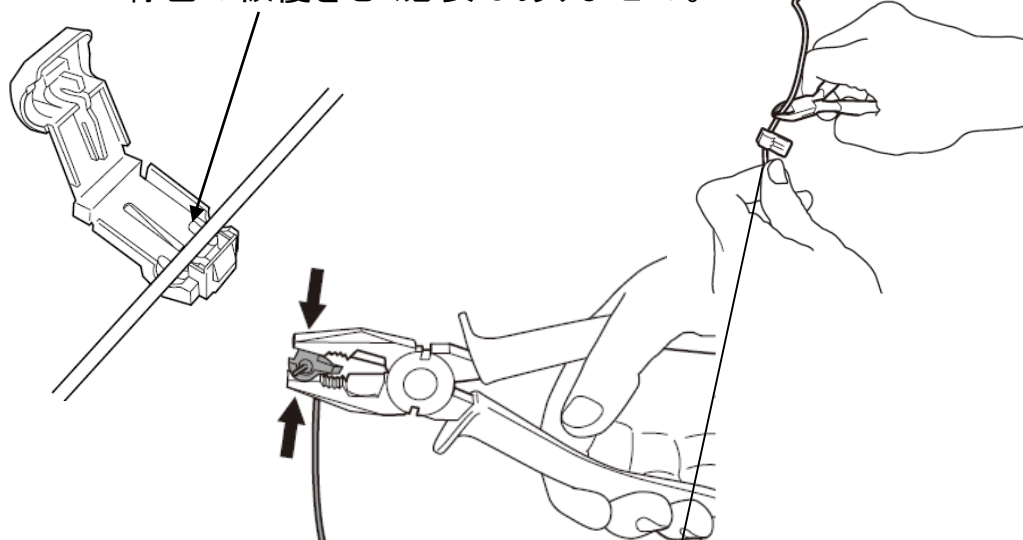
設置 境界ワイヤーL側の設置

紫色のコネクターを使ってチャージステーションの(L)へ接続します。

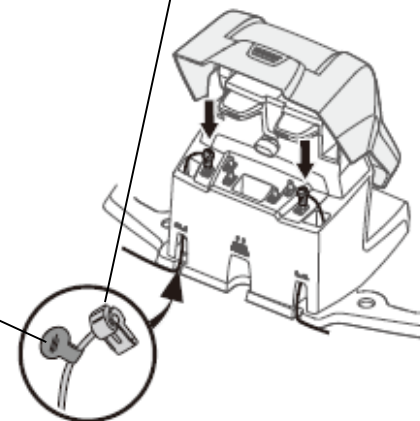
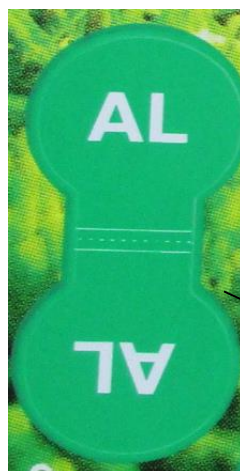
右のようにワイヤーをコネクターの溝に合わせ、プライヤーで強く挟み込み、あまったワイヤーはニッパーで切断します

「設置 チャージステーション」のページ参照

緑色の被覆をむく必要はありません。



付属のケーブルマーカのAL(緑色)を境界ワイヤーに貼り、作成したコネクターをチャージステーションのLへ接続しますが、本体が充電中なので、チャージステーションへの接続は、充電が完了してから行ってください。



設置 境界ワイヤー設置要領

境界ワイヤーは、曲がり角が90度になっても問題ありません。(鋭角になっても問題ありません。)

ガイドワイヤーは曲がり角を135度程度の緩やかな角度にしてください。



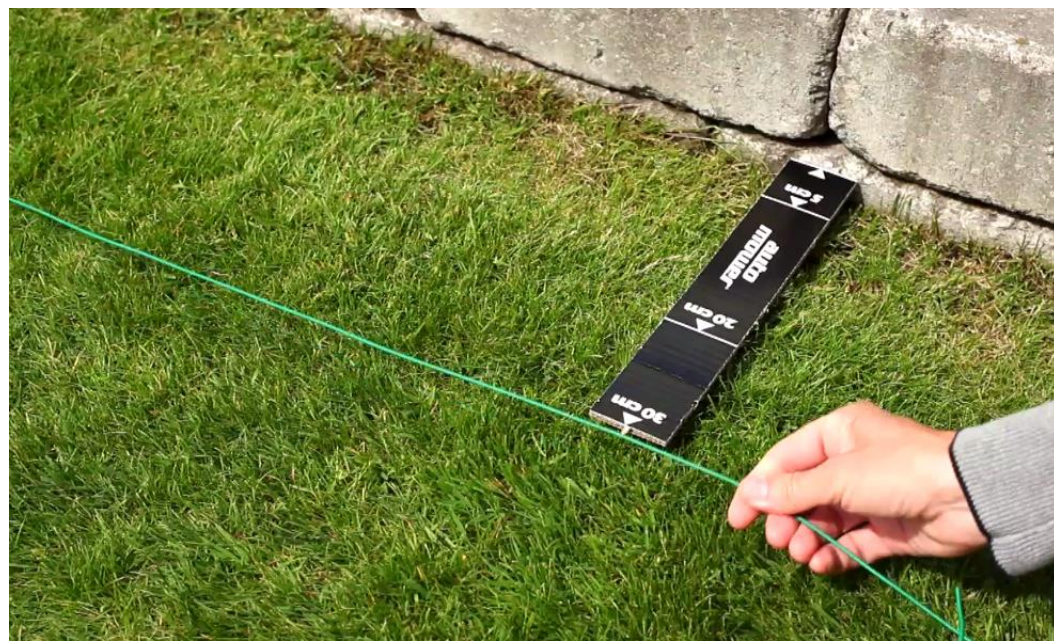
90度OK

障害物からの距離測定は、付属のゲージ(箱のミシン目を切り取る)を使用してください。

測定単位: 5cm(2")、20cm(8")、30cm(12")
2枚合わせれば最大70cmまで測定可能です。

右写真は壁から30cmに境界ワイヤーを設置しているところです。

この場合、刈残しは 20cm発生します。

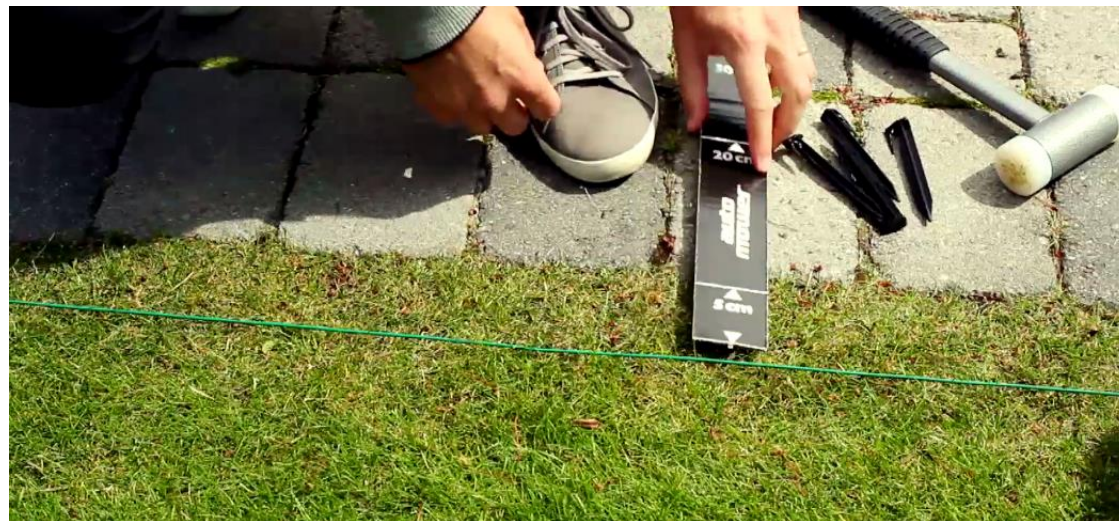


設置

境界ワイヤー設置要領

右のようなエリアでは、5cm離して設置します。

刈残しはありません



右のようなエリアでは、20cm離して設置します。

刈残しは 12cm発生します。

高さ5cm未満の障害物として境界ワイヤーを設置します。



設置 境界ワイヤー(アイランド化作業)

右の写真はアイランド化作業です。



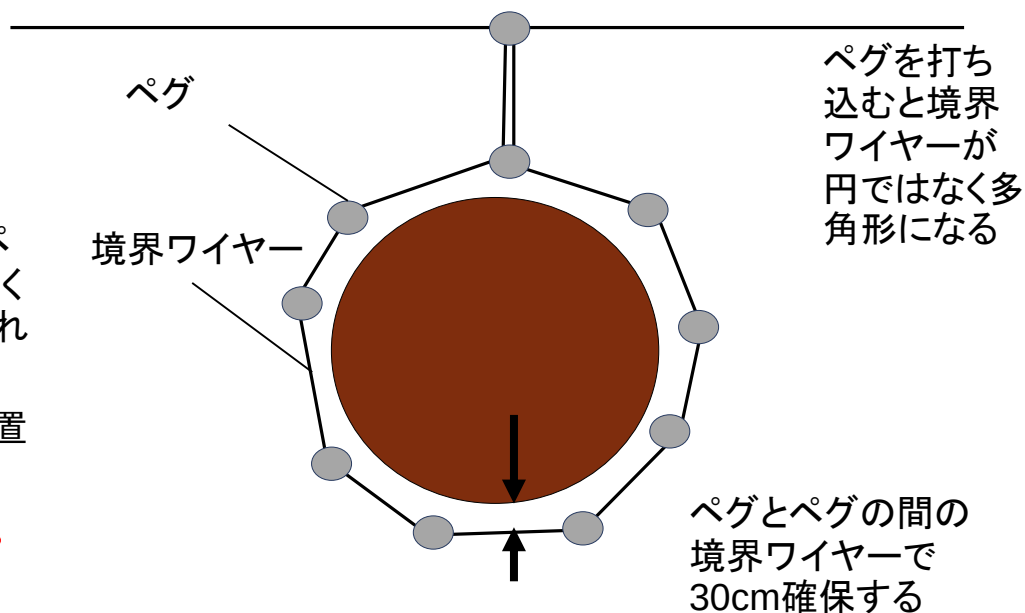
アイランド化作業での注意点

ペグの間隔は狭く設置してください。

ペグを打ち込むところで30cmを確保した場合、ペグ間の境界ワイヤーと幹との距離は30cmより短くなり、Automower 105 本体が、幹に衝突する恐れがあります。

境界ワイヤーと幹の距離が30cmとなるように設置してください。

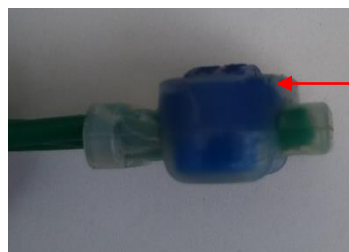
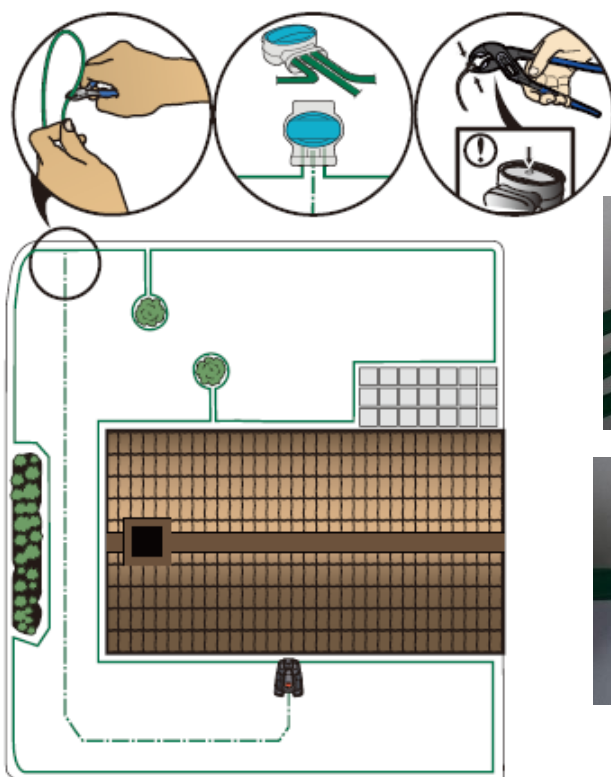
境界ワイヤーが交差しないよう注意してください。



設置 境界ワイヤーとガイドワイヤー接続位置の注意点

境界ワイヤーとガイドワイヤーが接続する地点は、あらかじめ境界ワイヤーを余分にたるませてください
(20～30cm程度)

後ほどガイドワイヤーと結ぶため、境界ワイヤーを切断し、右写真のように3つの線を1つのカプラーでつなぎます。



**注) しっかり奥まで
押し込んで下さい**

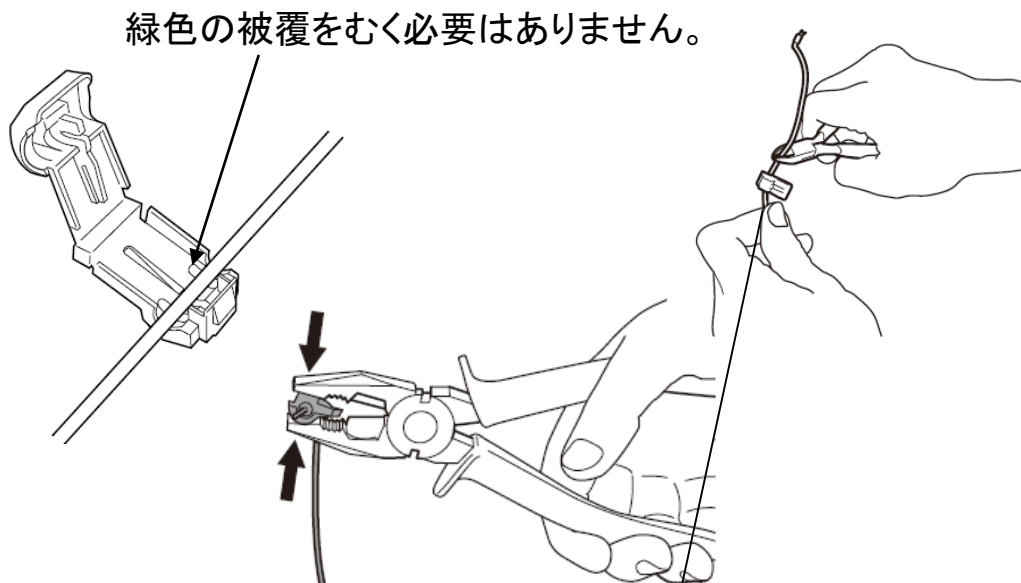
奥まで入っていないと通電せず、
チャージステーションのランプが
青色点滅になります。

設置 境界ワイヤーR側の設置

紫色のコネクターを使ってチャージステーションのRへ接続します。

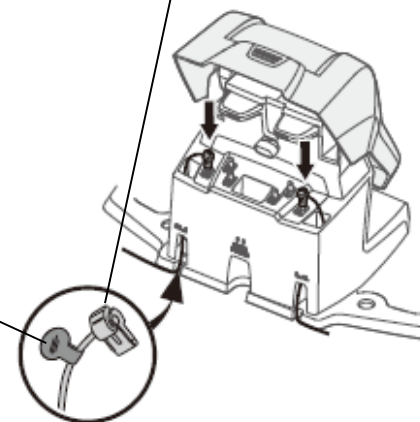
右のようにワイヤーをコネクターの溝に合わせ、プライヤーで強く挟み込み、あまったワイヤーはニッパーで切断します

緑色の被覆をむく必要はありません。



付属のケーブルマーカのAR(緑色)を境界ワイヤーに貼り、作成したコネクターをチャージステーションのRへ接続しますが、本体が充電中なので、チャージステーションへの接続は、充電が完了してから行ってください。

ALとR、ARとLの組み合わせで接続(交差)すると本体が動作できなくなるので、ALとL、ARとRになるよう接続してください。



設置 ガイドワイヤーとチャージステーションカプラー接続要領

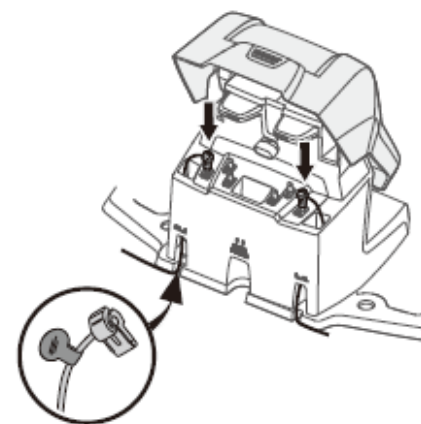
チャージステーションの「GUIDE」へ
ガイドワイヤーのコネクターを接続し
ます。

チャージステーションの裏
側の溝にガイドワイヤーを
はめこみます。(右図参照)

付属のケーブルマーカのG1(青色)
をガイドワイヤーに貼り、作成したコネ
クターをチャージステーションの
GUIDEへ接続しますが、本体が充電
中なので、チャージステーションへの
接続は、充電が完了してから行ってく
ださい。

LとR、GUIDEのワイヤーを間違えて
接続しないでください。本体が動作で
きなくなります。

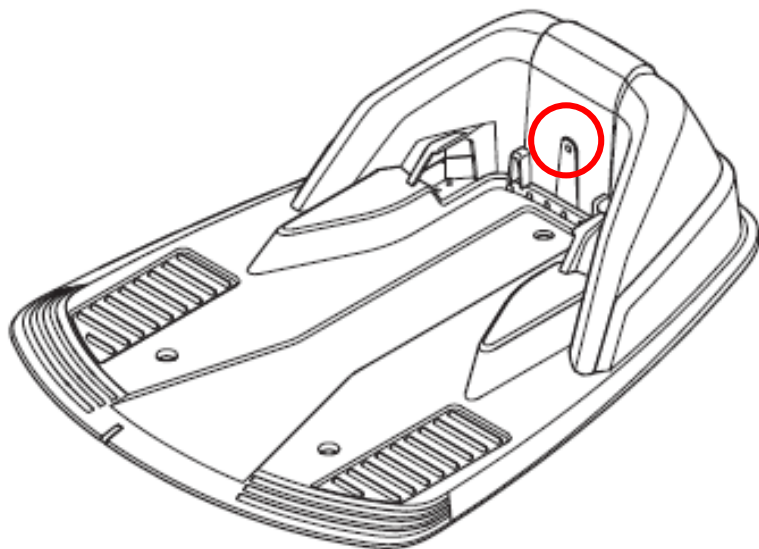
設置作業は以上になります





設置後の動作確認・自動運転方法

動作確認の前に



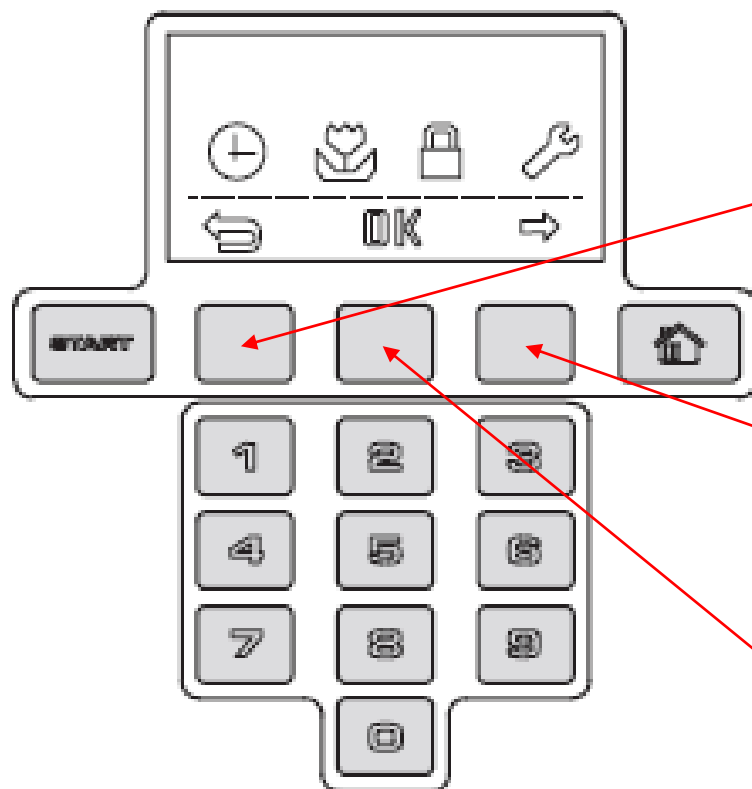
- ワイヤー設置が完了したら、チャージステーションのインジケータランプ(左図○部)が緑色点灯していることを確認します。青色点滅は境界ワイヤーがつながっていない状態です。ランプが点かないのは電源がきていない状態です。
- ワイヤー敷設直後は刈高を最大にし、刃でワイヤーを切らないようにします。

チャージステーションランプ

	緑色点灯	正常
	青色点滅	境界ワイヤーが接続されていない、若しくは断線している
	黄色点滅	ガイドワイヤーが接続されていない、若しくは断線している
	赤色点滅	チャージステーションの信号不良
	赤色点灯	チャージステーションの基板の故障
	無灯	電源が接続されていない、低電圧ケーブルが接続されていない



キー操作



- 

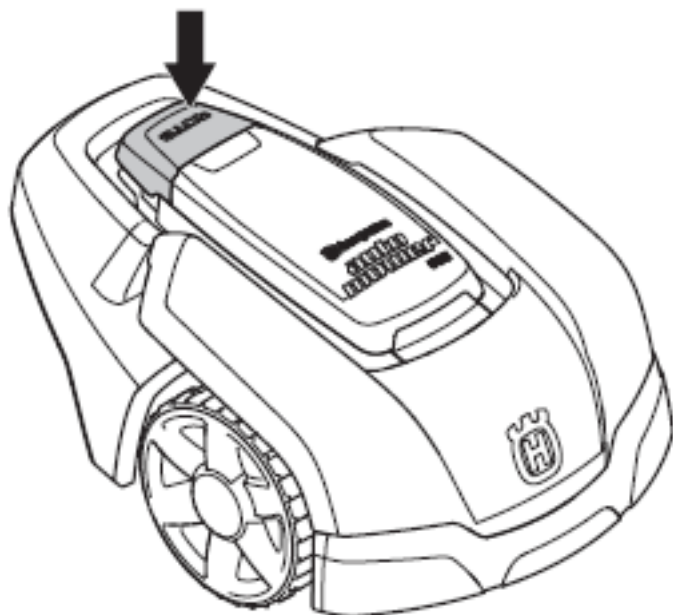
前画面に戻る時に使います。
このボタンを押します。
- 

選択を移動する時に使います。
このボタンを押します。一番右、または一番下まで移動した後にボタンを押すと、元の位置に移動します。
- 

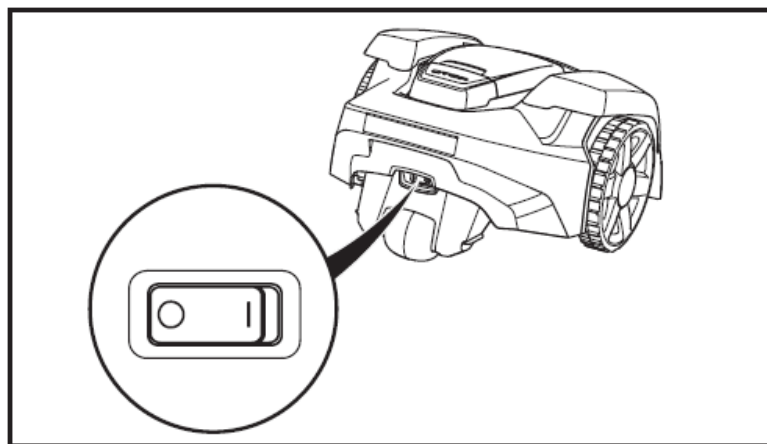
決定する時に使います。
このボタンを押します。

注意: タッチパネルではありません。

動作確認: 自動運転で芝刈りする前に、テストをします。



- 本体上部の STOP ボタンを押し、ハッチ(カバー)を開きます。

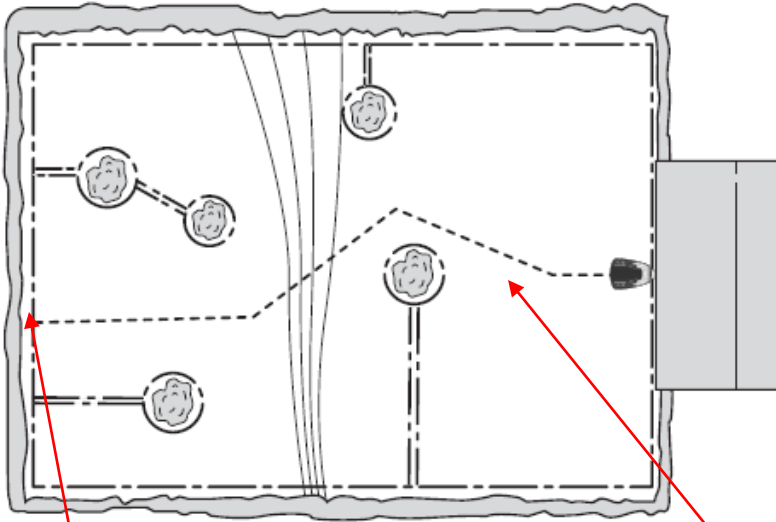


- 電源スイッチの 1 (オン) を押して、電源を入れます。

ガイドワイヤーを認識させます

Test OUT 概要

- チャージステーションから出ているガイドワイヤーをたどり、ガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されているまでの経路を正しく認識できるか、テストを行います。



ガイドワイヤーと
境界ワイヤーの接続部

ガイドワイヤー

Remote start の設定

Remote start とは :

Automower をチャージステーションから離れた場所からスタートさせることができます。狭い通路があるなど入り組んだ複雑な地形の場合に、チャージステーションからガイドワイヤーに沿ってAutomower を予め移動させてから刈り始めることにより、刈りムラの発生を低減することができます。

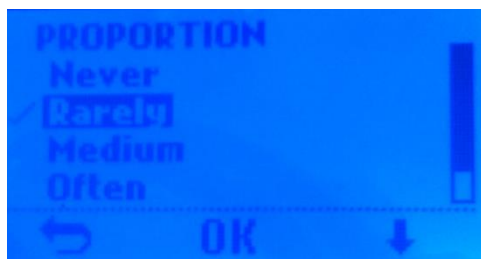
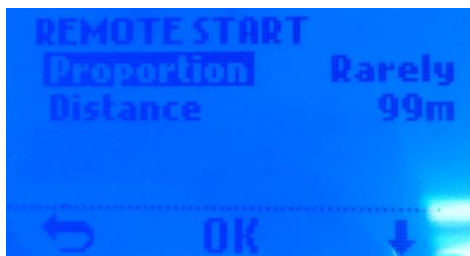
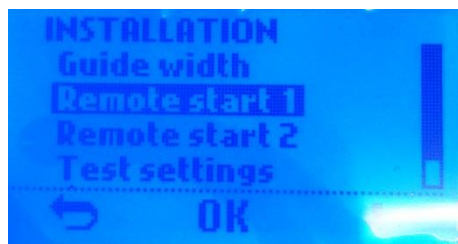
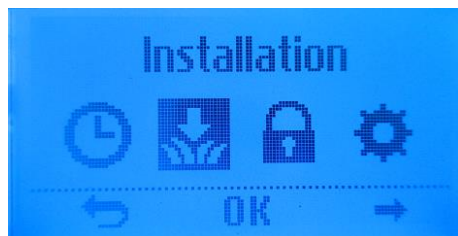
Automower 105では2ヶ所設定することができます。

Never	: 0%	: Remote Start 機能を使用しない。4回中4回チャージステーションからスタートします。
Rarely	: 25%	: チャージステーションから出る時に4回中1回Remote startを使用します。
Medium	: 50%	: チャージステーションから出る時に4回中2回Remote startを使用します。
Often	: 75%	: チャージステーションから出る時に4回中3回Remote Startを使用します。
Always	: 100%	: チャージステーションから出る時に4回中4回Remote startを使用します。

✓ 合計の % が100% を超える設定はできません。

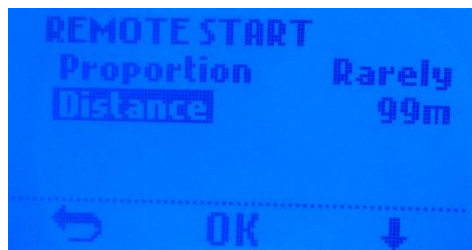
- 例えば、Remote start 1 を Rarely 25%に設定し、Remote start 2をOften 75%に設定すると、チャージステーションを出て直ぐからはスタートしなくなります。Remote start 1をMedium 50%に設定すると、Remote start 2 をOften 75%には設定できません。Remote start 1と2をNever にすると、毎回チャージステーションを出て直ぐにスタートします。

Remote start の設定

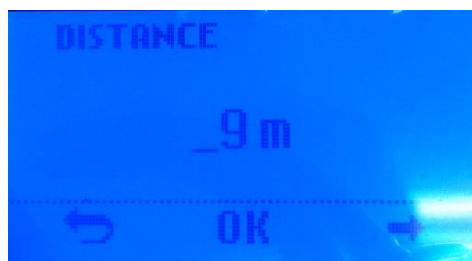


- → で Installation (設置) に 移動し OK を押します。
- ↓ で Remote start 1 (リモートスタート 1) に移動し OK を押します。
- まず、どれくらいの頻度でRemote startさせるかを設定します。
Proportion でOK を押します。
- 初期設定では、Rarely になっています。任意のところに ↓ で移動し OK を押します。

Remote start の設定



- 次に、どれくらい離れた場所からスタートさせるかを設定します。↓で Distance に移動し OK を押します。



- チャージステーションからガイドワイヤーに沿って移動してからスタートさせる距離を数字入力します。



- 入力したら OK を押します。

✓ 初期設定ではRemote1が、Proportion : Rarely 、 Distance : 99m に設定されています。

ガイドワイヤーを認識させます

Test OUT 実施



- PIN コードを入力後、OK を押します。初期設定の PIN コードは、製品に同梱されているクイックガイドに記載されています。



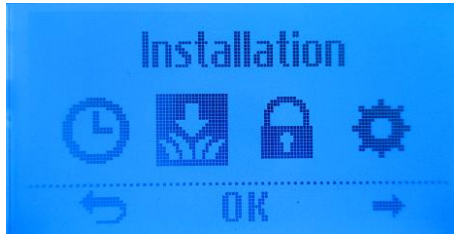
- MENU (メニュー) と表示されている下の □ ボタンを押します。



- 左の画面が表示されます。

ガイドワイヤーを認識させます

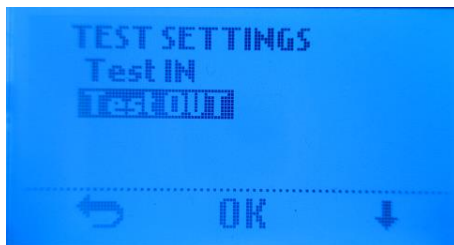
Test OUT 実施



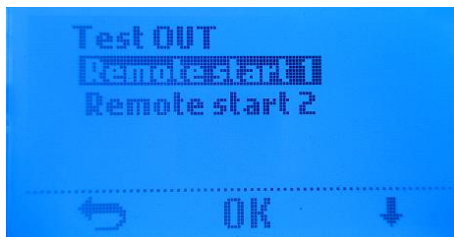
- → で Installation (設置) に 移動し OK を押します。



- ↓ で Test settings (テスト設定) に移動し OK を押します。

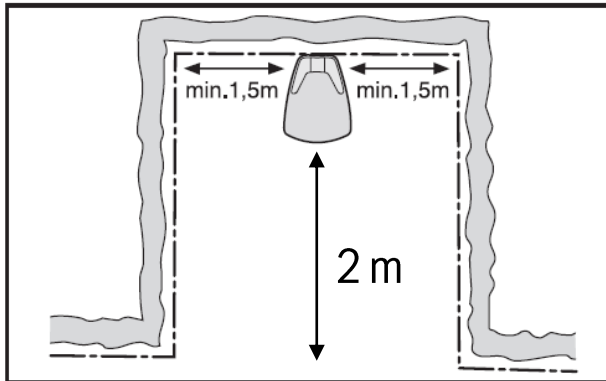
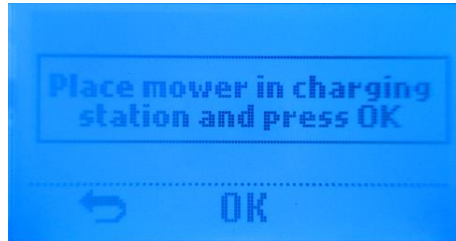


- ↓ で Test OUT (テスト アウト) に移動し OK を押します。

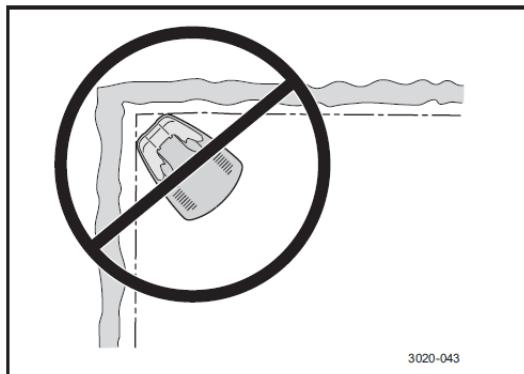


- ↓ で Remote start 1 (リモートスタート 1) に移動し OK を押します。

ガイドワイヤーを認識させます Test OUT 実施



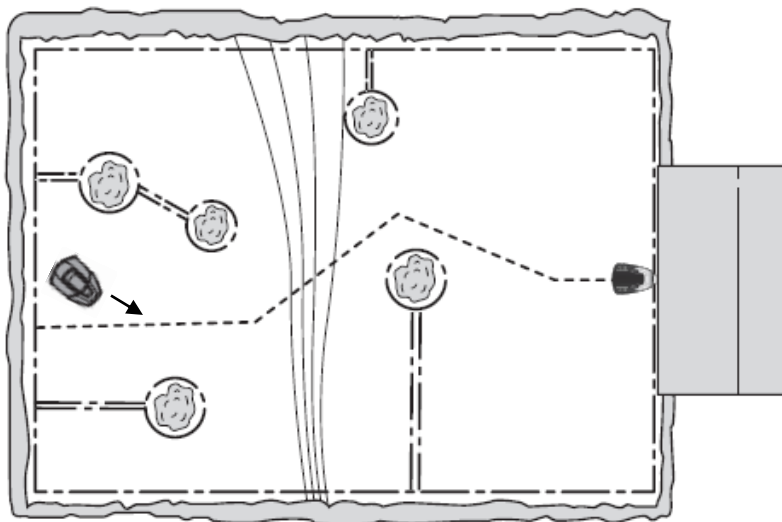
3018-067



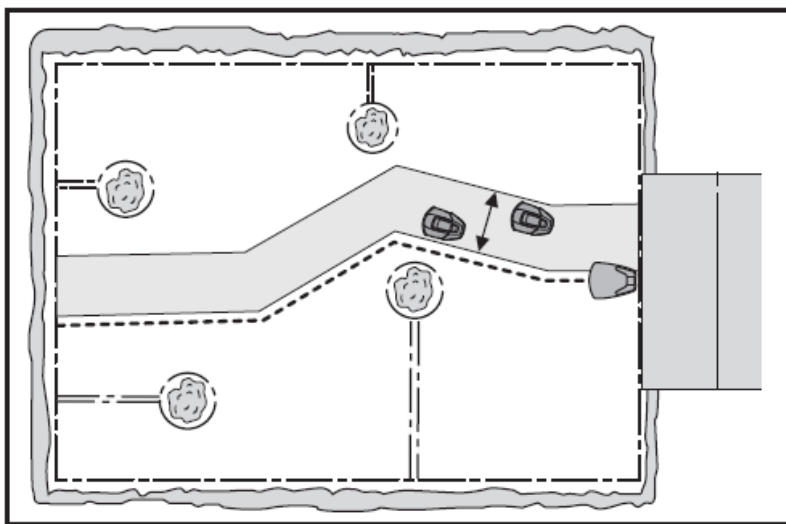
3020-043

- Automower 本体をチャージステーションにドッキングし、OK を押します。ハッチ(フタ)を閉じると、チャージステーションから出て、ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続部まで自動的に移動します。
- ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続部に到達後、ブレードが回転し始め、自動運転が行われます。テストを終了するには本体の STOP ボタンを押して停止します。
- **うまくいかない場合**
このような結果にならない場合、チャージステーション周辺の空間が狭すぎることが考えられますので、十分な寸法にワイヤー敷設を変更してください。

ガイドワイヤーに沿ってチャージステーションに戻る れるかテストします Test IN 概要



- 本体の電源をオフの状態、ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続付近に持ち運びます。製品前方をガイドワイヤーに向けます。
- 本体上部の STOP ボタンを押し、ハッチ(カバー)を開き、電源をオンします。

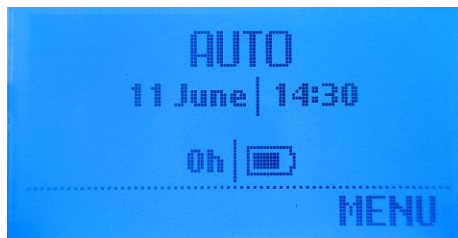


- 製品はガイドワイヤーの左側を通り、チャージステーションに戻ります。ガイドワイヤーの左側に十分なスペースがない場合、本体設定を変更します。

ガイドワイヤーに沿ってチャージステーションに戻るかテストします Test IN 実施



- 本体の電源を入れ、PIN コードを入力後、OK を押します。

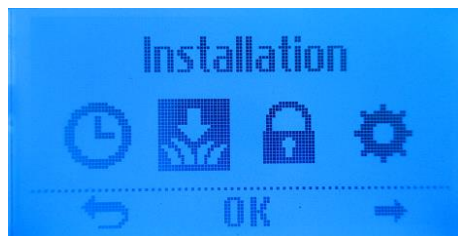


- MENU (メニュー) を押します。



- 左の画面が表示されます。

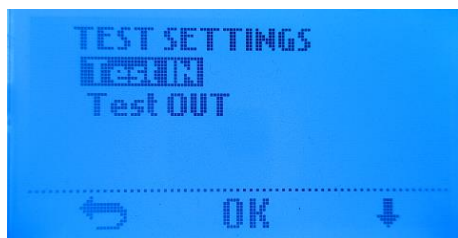
ガイドワイヤーに沿ってチャージステーションに戻るかテストします Test IN



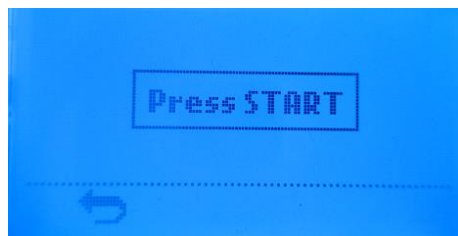
- → で Installation (設置) に 移動し OK を押します。



- ↓ で Test settings (テスト設定) に移動し OK を押します。

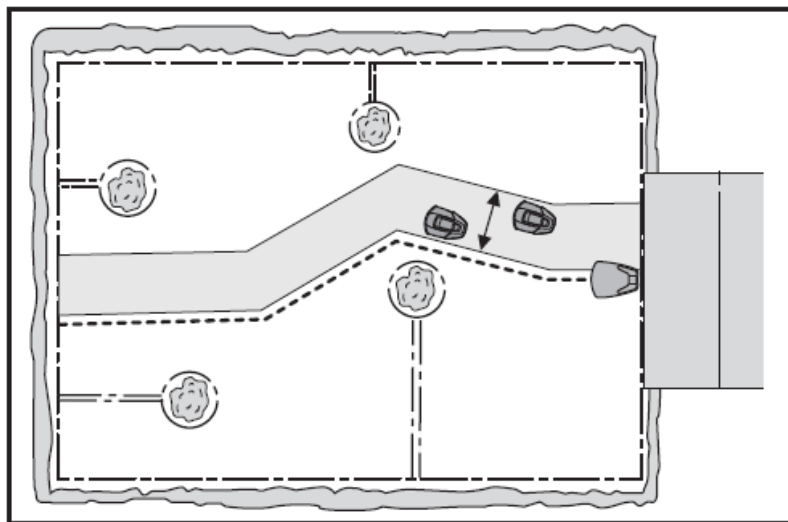


- ↓ で Test IN (テスト イン) に移動し OK を押します。



- START を押しハッチ(フタ)を閉じます。

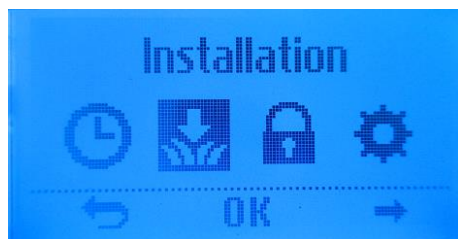
ガイドワイヤーに沿ってチャージステーションに戻るかテストします Test IN



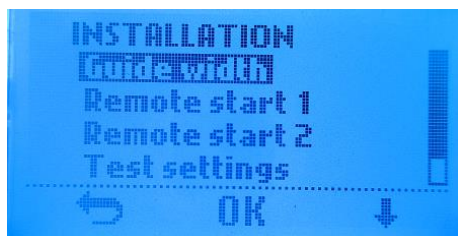
- ガイドワイヤーの左側を通り、チャージステーションに向かい、ドッキングしたら完了です。

- うまくいかない場合**

ガイドワイヤー左側に十分なスペースがなく、細い部分を通過できなかった場合は次のように設定を変更します。

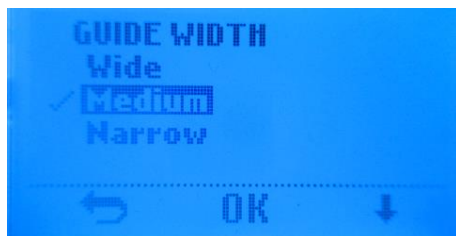


- Installation (設置) で OK を押します。

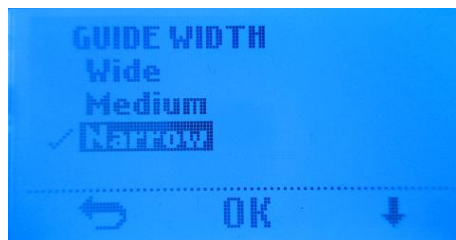
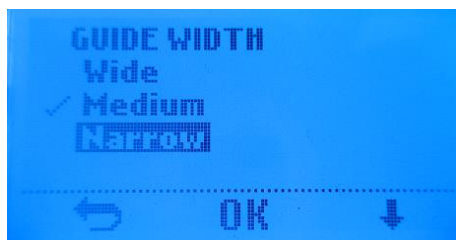


- Guide width (ガイド幅) で OK を押します。

ガイドワイヤーに沿ってチャージステーションに戻るかテストします Test IN

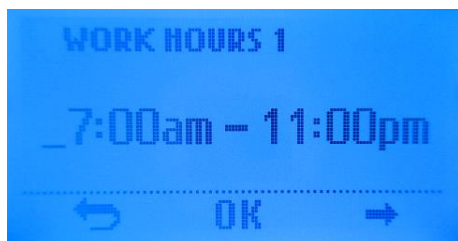
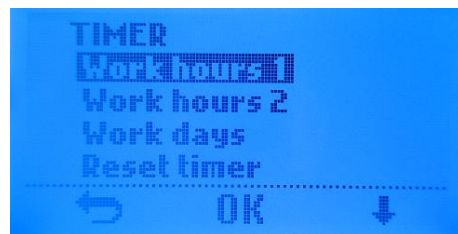
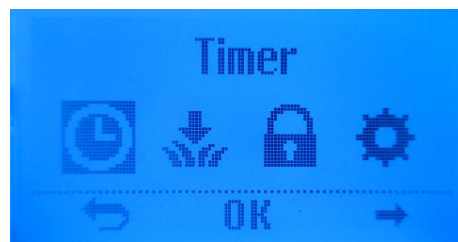


- Medium (中) が選択されているので、
↓ で Narrow (狭い) に移動し OK を
押します。



- Narrow (狭い) にチェックマークが
入っていることを確認します。
- 電源をオフにし、前述の Test IN 動作
確認を再度行ってください。

運転タイマーをセットします



- 芝刈り、充電を自動で繰り返し、充電中の仕事はゼロとなりますが、平均すると約 43 m² が1時間あたりの作業面積です。面積に応じた稼動時間を数字キーでセットします。1日あたりのタイマーセット時間と面積は次のように考えます。

4時間: $43 \times 4 = \text{約 } 170 \text{ m}^2$

最大: $43 \times 14 = \text{約 } 600 \text{ m}^2$

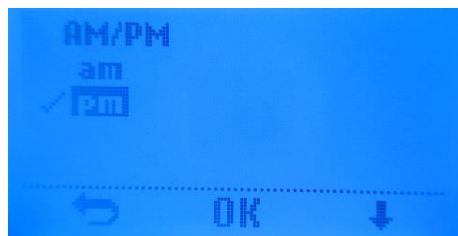
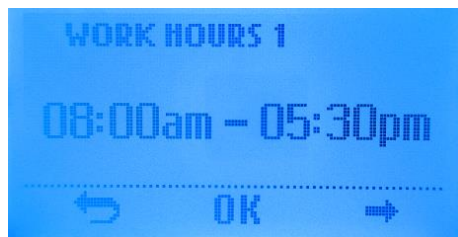
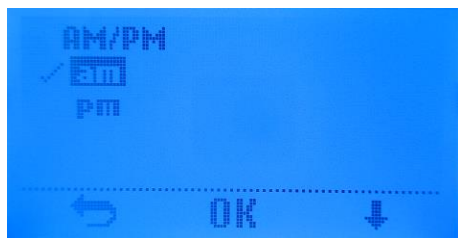
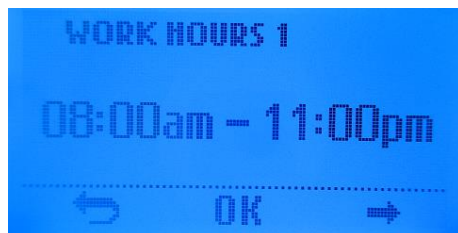
(例)面積 400 m² の場合

$400 \text{ m}^2 \div 43 \text{ m}^2/\text{時間} = 9.3 \text{ 時間}$

1日あたり 9～10 時間くらい稼働させるタイマーセットとなります。

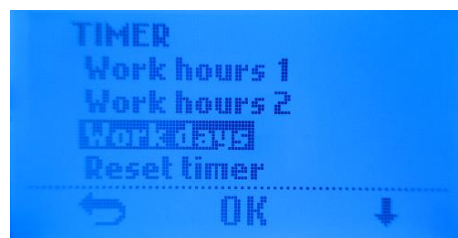
- MENU (メニュー) を押します。
- Timer (タイマー) で OK を押します。
- Work hours 1 (稼動時間 1) を選択して OK を押します。
- WORK HOURS 1
07:00am-11:00pm が表示されます。

運転タイマーをセットします



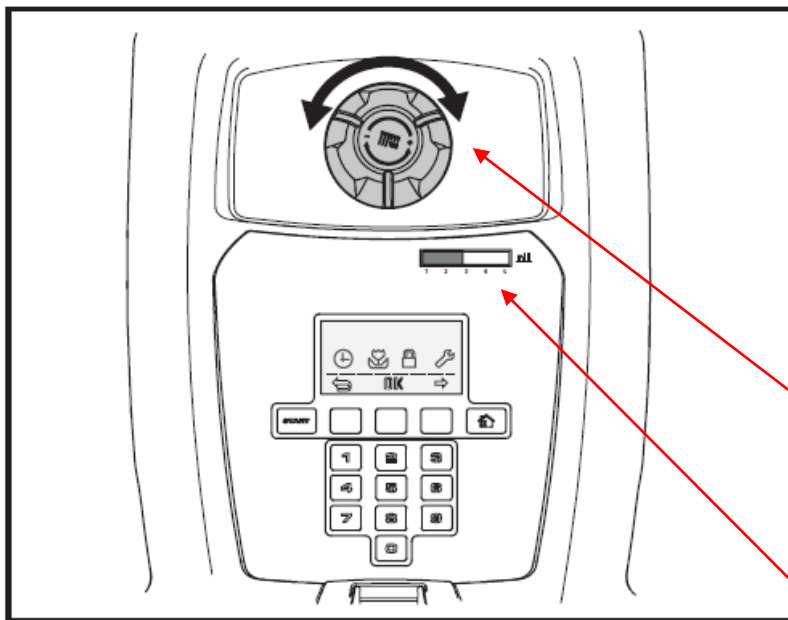
- 稼動開始時刻を数字キーで入力します。左の画面は 07:00 を 08:00 に変更した例です。
- 数字を入れると、am または pm を選択する画面が表示されますので、選択して OK を押します。
- 稼動終了時刻を数字キーで入力します。左の画面は 11:00 を 05:30 に変更した例です。
- 数字を入れると、am または pm を選択する画面が表示されますので、選択して OK を押します。

運転タイマーをセットします



- 稼働させる曜日を選択します。少しずつ芝を刈り、集草しないコンセプトなので、出来るだけ毎日稼働させます。
- MENU (メニュー) を押します。
- Timer (タイマー) で OK を押します。
- Work days (稼働日) に移動して OK を押します。
- 稼働させる曜日にチェックを入れます。該当する曜日のところで OK を押すとチェックの入切ができます。毎日稼働させる場合は Run all を選択して OK を押します。

刈高の設定



- 設置後、1週間経過するごとに、刈高を1目盛り下げ、最終的なお好みの刈高に合わせます。設置作業直後、浮いているワイヤーを切ってしまうことを防止します。芝を一気に短く刈ることは、芝の成長上避けてください。
- 刈高の設定を行う場合、STOP ボタンを押してハッチ(フタ)を開き、ダイヤルを回します。+ 側で高く、- 側で低くなります。
- 刈高インジケータ
1 の位置: 20 mm(最低)
5 の位置: 50 mm(最高)
目盛りが一つ増えるごとに、約 7.5 mm 刈高が上がります。

自動運転(芝刈り)を行います



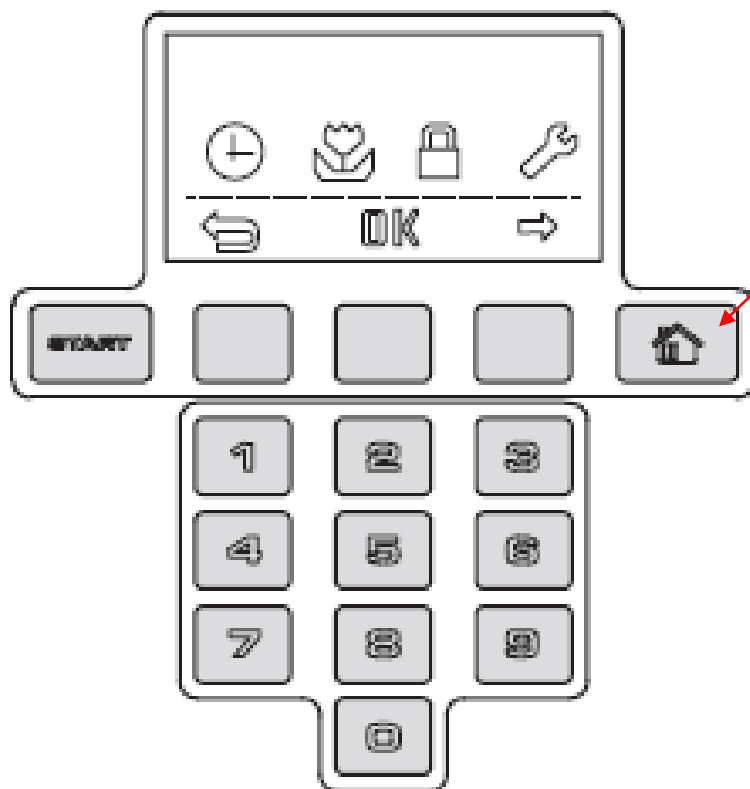
- 本体の STOP ボタンを押してハッチ (フタ)を開き、PIN コードを入力後、OK を押します。



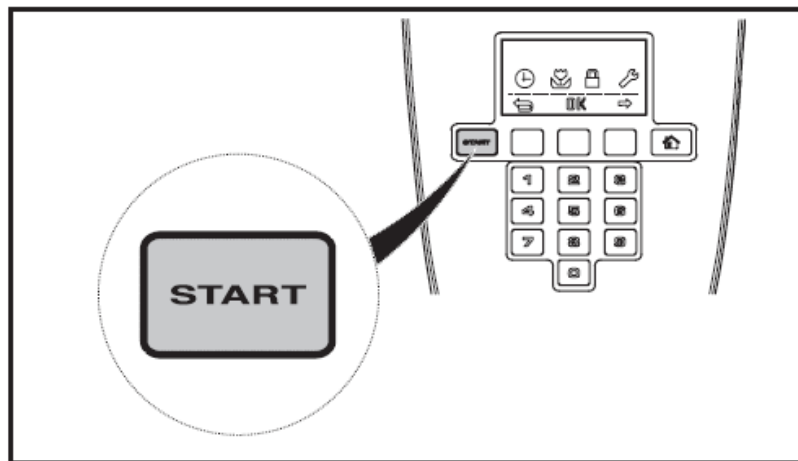
- AUTO が表示されていることを確認します。

自動運転(芝刈り)を行います

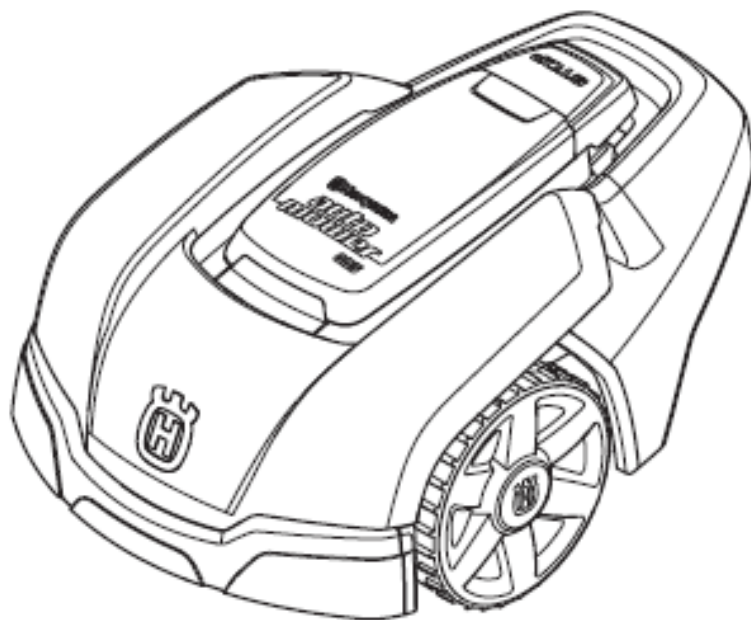
- AUTO が表示されていない場合、このボタンを押して AUTO を選択します。



自動運転(芝刈り)を行います

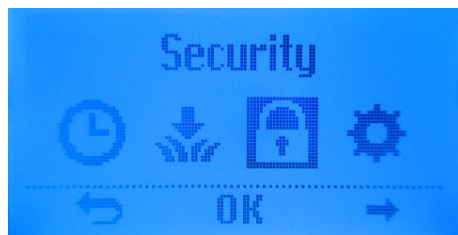


- START を押します。



- ハッチ(フタ)を閉じます。充電が完了すると自動運転を開始します。
- すぐに自動運転を行いたい場合、本体をチャージステーションから出し、START を押し、ハッチを閉じます。

Security (セキュリティ) の設定

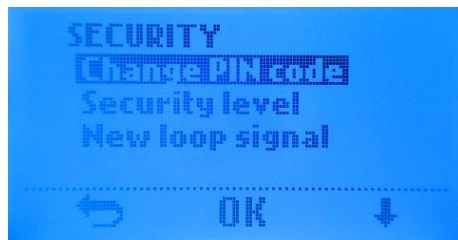


初期設定の PIN コードは任意のコードに変更することが出来ます (0000 以外)。

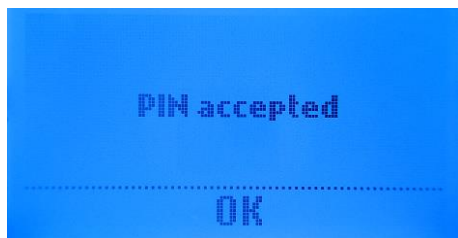


PIN code (PIN コード) 変更方法

- MENU を押し、Security (セキュリティ) で OK を押します。
- PIN コードを入力します。
- Change PIN code (PIN コード変更) で OK を押します。



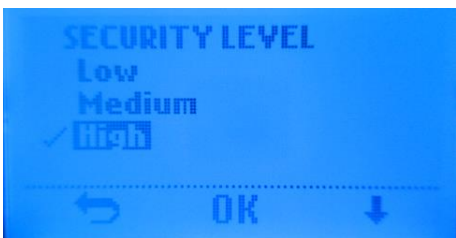
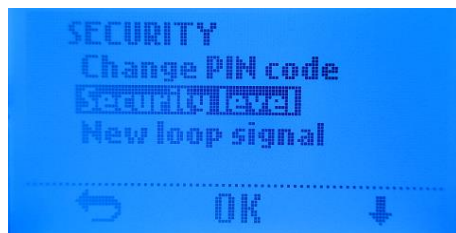
Security (セキュリティ) の設定



- ENTER NEW PIN CODE (新規 PIN コード入力) で新しい4桁の PIN コードを数字キーで入力し、OK を押します。
- CONFIRM NEW PIN (新規 PIN 確認) で新しい PIN コードを再度入力します。
- PIN accepted (PIN 容認) が出て、Change PIN code (PIN コード変更) 画面に戻ります。

PIN code を入れ間違えると、ピーと大きな音が鳴り、PIN not accepted と表示されますので、OK を押します。Change PIN code からやり直してください。

Security (セキュリティ) の設定



セキュリティレベルは変更可能です。

セキュリティレベル変更方法

- MENU を押し、Security (セキュリティ) で OK を押します。
- Security level (セキュリティレベル) で OK を押します。
- Medium (中) が選択されています。

Low (低): PIN コード入力及要求されないようになります。

Medium (中): ハッチが開くと PIN コード入力及要求されます。

High (高): ハッチが開くと PIN コード入力及要求されます。時間内に PIN コード入力しないとアラームが鳴ります。

↓ キーでご希望のレベルを選択し、OK を押します。



**Husqvarna
Group**

www.husqvarnagroup.com